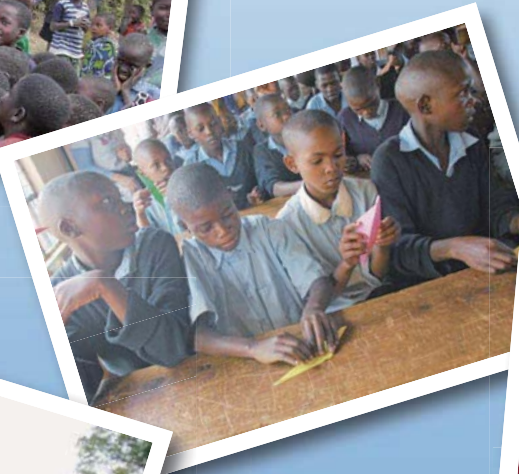


平成21年度 活動レポート



独立行政法人
国際協力機構
中国国際センター（JICA中国）



JICA中国活動レポート

目次

はじめに	1
第1部 各事業の活動報告	
1. 研修員受入事業.....	2
2. 青年研修事業.....	4
3. 海外ボランティア事業.....	6
4. 草の根技術協力事業.....	8
5. 開発教育支援・市民参加協力推進事業.....	10
6. 大学との連携協力.....	14
第2部 過去10年間の事業実績	
1. 研修員受入事業.....	15
2. 青年研修事業.....	15
3. 海外ボランティア事業.....	16
4. 草の根技術協力事業.....	17
5. 開発教育支援・市民参加協力推進事業.....	18
第3部 平成21年度事業実績・参考資料	
1. 平成21年度事業実績.....	21
2. 参考資料.....	58

はじめに

この冊子は、独立行政法人 国際協力機構 中国国際センター（JICA中国）の平成21年度の事業概要・実績をまとめたものです。

JICA中国は、中国地方の5県（広島、岡山、鳥取、島根、山口）において、地方自治体や大学、NGO、企業等各種機関団体からの連携・協力を得て、開発途上国からの技術研修員を受け入れる研修員受入事業や、草の根技術協力、海外ボランティア活動、開発教育支援等からなる市民参加協力事業を実施しています。

研修員受入事業では、平成21年度はアジアやアフリカ等さまざまな国から295名の行政官や技術者が、広島県を中心としつつ、教育、産業振興、環境保全、平和構築等、中国地方特性の分野で38の研修コースに参加しました。青年研修においても、各県の特徴を活かした各団体の協力を得て5コースを実施し、計89名の青年を受入れました。

市民参加協力事業として実施している草の根技術協力事業は、平成21年度継続案件も含めて10件を実施しました。岡山県、島根県を中心に各県の自治体、NGO等8つの団体が、それぞれの強みを活かした技術協力を実施し、人づくりや社会づくりを通じた開発途上国の発展への貢献を目指しています。

海外ボランティア事業においては、平成21年度、中国地方からは青年海外協力隊員が123名、シニア海外ボランティアが39名、世界中の多くの途上国に派遣されました。海外ボランティア事業が開始されて45年が経ちますが、中国地方から累計で青年が2,271名、シニアが201名派遣されており、日本も中国地方も元気になるボランティア事業の更なる拡大を目指しております。

開発途上国の現状やこれらの国々が抱える課題について理解を深め、国際協力への理解と支持、さらには参加意識を育むための開発教育に対する支援としては、国際協力出前講座、教師海外研修、高校生国際協力体験プログラム等、さまざまな活動を実施しており、出前講座においては、平成21年度は中国5県で200回行い、17,917名にのぼる学生や市民の方々に参加いただきました。

このようにJICA中国の事業は、中国地方の自治体、大学、NGO、企業等さまざまな団体に支えられながら、そして市民の方々のご理解、ご支援、さらにご参加があって成り立っています。

平成20年10月、旧JICAは旧国際協力銀行（旧JBIC）と統合し、それまで旧JICAが実施してきた技術協力事業に加え、それまで外務省が実施していた無償資金協力事業の一部と旧JBICが実施していた円借款事業を総合的に実施する新JICAとして再スタートしました。新JICAは「すべての人々が恩恵を受ける、ダイナミックな開発」を新ビジョンとして掲げ、4つの使命を果たすために4つの戦略を立てていますが、その1つの戦略として開発パートナーシップの推進があります。

これは地方自治体、大学、NGO、企業、市民の皆さんの協力を得て、官民連携や国民参加を推進し、途上国での幅広い支援活動を行なっていくことですので、今後ともJICA中国は、中国地方の各機関・団体、そして市民の皆様の温かいご協力を賜り、中国地方の特長を活かした国際協力事業を推進してまいり所存です。JICA中国のこれからの活動に一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

平成22年7月

独立行政法人 国際協力機構
中国国際センター
所長 永田邦昭

第1部 各事業の活動報告

1. 研修員受入事業

JICA中国は、開発途上国のそれぞれの専門分野で実務に携わっている技術者、研究者、行政官などを受け入れて、研修の機会を提供しています。

平成21年度は、教育分野の研修を中心に、地域産業の振興、エネルギー、環境管理、水産業の各種分野において研修を実施しました。これら研修は、教育分野の研修において広島大学、広島県教育委員会などと連携して実施するなど、地域のリソースと最大限連携を図った上で実施をしています。

JICA中国では、今後とも、地域のリソースを活かし、かつ途上国の問題解決に繋がる研修コースの実施を継続すると共に新たな開拓を行っていく所存です。



平成21年10月に開催された西条・酒祭りでは子供たちとゲームに興じるJICA研修員

4月

平成20年度「地域水産業の持続的発展に寄与する行政担当者育成」コース継続実施

10月

研修員、東広島市の「酒まつり」に参加

5月

「乾燥地における土地・水資源の適正管理と有効利用」、「ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電」コース開始

11月

中南米地域「中小企業振興政策」、アフリカ地域「研修を基礎とした教育の質的向上のための政策形成能力開発」、イラク「水力発電」、アフリカ地域(英語圏)「INSET運営管理」(A)コース開始

6月

南東欧「地域産業振興政策」コース開始

12月

7月

中東地域「上水道維持管理」コース開始

1月

アフリカ地域「中小零細企業支援機関育成」、インド「火力発電(石炭)」、「バイオマス利用システム」、「食品加工・保全技術」、アフリカ地域「女性起業家育成支援」、アフリカ地域(英語圏)「INSET運営管理」(B)コース開始

8月

「中等科学教育実技」、「廃棄物管理総合技術」、アセアン地域「海上安全保安能力強化」、「持続可能な地域観光振興」、中南米地域「生活排水処理」コース開始

2月

イラク「廃棄物管理」、アジア地域「ノンフォーマル教育拡充」、リベリア「平和構築のためのガバナンス能力強化」コース開始

9月

「養殖魚の健康と安全管理」、アフリカ地域「初中等教育の質的改善」、「ナイル川流域農業開発・環境保全支援」、アフリカ地域(仏語圏)「INSET運営管理」コース開始

3月

「地域水産業の持続的発展に寄与する行政担当者育成」コース開始

地域別研修 「アセアン地域 海上安全保安能力強化」 コース

JICA中国では、アセアン地域の海上保安官幹部候補生を対象にした「海上安全保安能力強化」コースを実施しています。初年度の実施となった平成21年には、インドネシア、マレーシア、フィリピンの海上保安組織から9名が来日し、研修に参加しました。

JICAでは、1970年代よりアジア海上保安分野への協力を開始し、各国海上保安機関の立上げと基礎的な能力の向上に貢献してきました。しかしながら、世界有数の航路であるマラッカ・シンガポール海峡では、近年、海賊、密輸、密航といった越境犯罪が深刻化しており、より複雑化した状況に対応するための地域連携体制強化、及び各国能力の標準化が大きな課題となっています。このような背景の下、本研修は、アセアン地域海上保安中核人材の育成、及び域内協力・連携推進を目指し、日本の海上保安庁幹部職員育成を担う海上保安大学校（広島県呉市に所在）による協力を得て実施されています。

来日した研修員は、約6ヵ月半に亘る長期間、日本に滞在し、国際法・国内法の考え方から捜索・海難救助・防災等の知識・技術まで、幅広い知識・技術を習得します。また、日本の海上保安関係施設を視察することにより、文民組織主体による海上保安体制への理解を深め、各国の海上保安体制における課題考察を行います。

海上保安分野において、このように長期、且つ総合的な内容の研修を実施することはJICAでも初めての試みであり、気候・文化の異なる日本での生活に戸惑いを見せる研修員もいましたが、研修終了時の発表会では、座礁船への対応や、マラッカ海峡における船舶航行密度軽減のための取組みなど、地域間協力を意識した課題改善への提言がなされました。また、多くの研修員が、帰国後、本邦研修の成果を自分の組織の中で活かしていきたいと今後の意気込みを語ってくれました。JICAでは、現地プロジェクトとの連携も図りつつ、帰国研修員の今後の活動をサポートしていきます。

JICA中国では、本研修コース以外にも、教育分野、平和構築分野、環境分野などで広島県、および中国地方の知見を活かした研修コースを実施しています。日本で蓄積された経験やノウハウを各国の抱える課題解決に役立てられるよう、効果的な研修実施にこれからも取り組んでいきます。



海上保安大学校（広島県呉市）にて



海洋開発研究機構にて
探査船の説明を受ける研修員

2. 青年研修事業

青年研修とは、開発途上国の若者を日本に招き、将来の国づくりを担う人材を育てる事業です。開発途上国の若者は18日間日本に滞在し、各専門分野の知識・技術を向上させる研修を受けます。また、本研修は、日本各地の市民や地方自治体が、地域の特色を活かして国際協力に参加する機会ともなっており、開発途上国の若者が帰国した後も、日本の関係者や市民との協力関係が続いたり、日本の関係者が途上国を訪問するなど、草の根レベルの国際協力にもつながる事業です。



「マレーシア・都市環境管理」(11月)
石炭記念館での施設見学(宇部市内)

4月

H21青年研修事業研修委託先の募集

5月

H21青年研修事業研修委託先の決定

6月

7月

8月

「中国・初中等教育行政」
受入団体：とっとり青友会
(8/19～9/5)

9月

10月

11月

「アフリカ(英語圏)・情報通信技術政策」
受入団体：世界青年徳山友の会
(11/3～11/20)
「インド・職業訓練教育」
受入団体：島根県地域国際交流協会連合会
(11/9～11/26)
「マレーシア・環境管理」
受入団体：宇部環境国際協力協会
(11/23～12/10)
「ベトナム・青少年育成」
受入団体：津山と世界を結ぶ会
(11/29～12/16)

12月

1月

2月

3月

青年研修のプログラム構成

研修期間は18日間です。下記は基本的な構成です。

数日間	来日前オリエンテーション(各国) 各国のJICA在外事務所で開催するもので、日本での研修プログラムの説明とその準備や関連分野の学習などを行います。
3日間	来日プログラム 日本での生活に必要な基本情報を学ぶとともに、日本についての概要(または日本における各分野についての概要)を学びます。
13日間	研修プログラム・評価会 各専門分野の講義や実習、討論、関連施設の視察を行います。 研修プログラム最終日には評価会を実施し、研修員が実際に感じた研修内容に対する充足度や改善要望等についての意見を聴取します。
2日間	帰国プログラム 閉講式、帰国準備などを行い、最終日に研修員は帰国の途につきます。



青年研修事業 都市環境管理コース（マレーシア）



JICA中国では、平成21年11月23日（月）から12月10日（木）までの18日間、開発途上国の若者を対象に、宇部市で「都市環境管理コース」研修を実施しました。

研修を実施した宇部市では、かつて戦後の産業発展に伴い直面した公害問題を、「産・官・学・民」から構成される環境保全システム「宇部方式*」により克服した経験を持っています。宇部市は、今後日本と同じ道を歩むであろう開発途上国に対し「宇部方式」技術を伝え、環境改善に貢献する活動を行っています。

今回の研修では、マレーシアから政府・NPO・大学で都市管理に係る業務に携わっている16名の青年研修員が来日し、宇部市と宇部環境国際協力協会のお世話になりました。研修員は18日間の研修期間、下記習得を目標に研修に参加しました。

宇部市の環境保全対策や市内企業の環境保全技術、研究機関の環境保全に関する研究について、講義や施設見学を通じて理解・習得する。

マレーシアの環境汚染を未然に防止するため、企業、学識者、行政、住民が協力しながら環境保全に取り組むことのできるシステムについて理解を深める。

研修中、研修員は宇部市の環境保全システム「宇部方式」を理解するため、「産・官・学・民」それぞれの環境保全への取り組みについての講義を受け、その後、宇部市の環境行政、下水処理場、廃棄物処理施設、水の高度処理施設、リサイクル施設などを見学し、まち全体での環境への取り組みを学びました。研修員たちは、今回の研修を通じて習得した知識・経験から、マレーシアでの具体的な活動計画を作成し、発表しました。意見交換・情報交換の場では、研修員それぞれが意見を出し合い、時間が足りなくなるまで活発に議論を行いました。議論することで知識や情報を参加者同士で共有し、より理解を深めることができます。このような経験は、帰国後の現場で役立たせることができるはずです。大半の研修員が、日本で得た知識や経験をマレーシアでの取り組みに活かしていきたいと語っていました。

宇部市は、戦災により市街地の大半を焼失したものの、再建にかける市民の熱意と石炭景気に支えられ、戦後順調な復興を遂げましたが、産業の発展とともに、企業の石炭使用量が増加し、ばいじん汚染が大きな問題となりました。

そこで、市民の生活環境を守るため、1949年（昭和24年）に「宇部市降ばい対策委員会」が設置され、1951年（昭和26年）には、全国に先駆けて、条例に基づいた「産・官・学・民」からなる「宇部市ばいじん対策委員会」を設置し、相互信頼と協調の精神をもって、話し合いによる、全市民が一体となった「宇部方式」といわれる独自の公害対策の取り組みを積極的に展開し、ばいじん汚染の克服に努めました。（宇部市ホームページより抜粋）

3. 海外ボランティア事業

JICA中国では、開発途上国の住民と一体となって行う協力活動を志望する個人を募集し、海外に派遣しています。海外ボランティアは大きく分けて、青年（20～39歳）を対象とした青年海外協力隊・日系社会青年ボランティアと、シニア（40～69歳）を対象としたシニア海外ボランティア・日系社会シニアボランティアがあります。中でも、青年海外協力隊事業は、1965年の事業開始より40年以上継続して取り組んでいます。JICA中国は、毎年春と秋の2回の募集期に合わせて実施される一般募集説明会の他、帰国隊員の報告会、大学や各種セミナー・イベント等でのボランティア事業の紹介など、ボランティア事業の理解促進のための様々な活動を行っています。

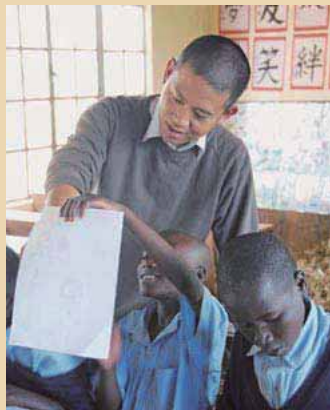


JICAボランティア写真パネル展
山陽小野田市立図書館

4月	4/1～5/18 平成21年度春募集、一般募集説明会実施（12都市、23回）	11月	11/4 岡山県立大学特別説明会 11/15 帰国報告会（山口県OB会） 11/15 国際交流・協力の日ブース出展、帰国報告会（広島県OB会） 11/21 鳥取県帰国報告会（鳥取県OV会）
5月		12月	12/7 青年海外協力隊帰国報告会（浜田市） 12/14～18 平成21年度3次隊出発前表敬
6月	6/3 岡山県知事帰国隊員表敬 6/15～19 平成21年度1次隊出発前表敬 6/17 鳥取県副知事帰国隊員表敬	1月	1/20 島根県立大学特別説明会 1/23 岡山県ボランティア家族連絡会、帰国報告セミナー（岡山県OV会） 1/28 東亜大学特別説明会 1/30 広島県ボランティア家族連絡会
7月		2月	2/6 教育セミナー中国2010 in 広島ブース出展
8月		3月	3/15～19 平成21年度4次隊出発前表敬 3/22 山口県ボランティア家族連絡会
9月	9/27 青年海外協力隊帰国報告会（呉市） 9/14～18 平成21年度2次隊出発前表敬		
10月	10/1～11/9 平成21年度秋募集、一般募集説明会実施（12都市、24回） 10/9 広島県知事帰国隊員表敬 10/25 倉敷国際ふれあい広場ブース出展（岡山県OV会） 10/25 ペあせろペブース出展（広島県OB会）		

その他、JICAボランティア写真パネル展を計48回実施。

世界で活躍したボランティアからのメッセージです！



黒明 堅一郎

派遣国：ケニア
 派遣期間：平成20年6月24日～
 平成22年3月22日
 職種：青少年活動
 出身：岡山県

私の活動したケニアの首都ナイロビ郊外にあるゲタスル男子更生院では、約100人の子どもたちが生活しています。子どもたちの背景はさまざま、ストリートボーイ・孤児・非行傾向にある少年、罪を犯した子などが毎日のようにケニア全土からやってきます。そこで私は唯一の授業担当の教員として英語や算数、そして体育を子どもたちに教えていました。

日本でいう小中学校の学齢期の子どもたちが在籍していて、2学年合同で授業を行っているため、それぞれの子供たちが週に1回しか授業を受けることができません。それでもその週に1回の授業をいつも楽しみに教室にやってきます。たとえわからなくても元気に手をあげる生徒、アルファベットが書けなくても必死にノートをとる生徒、足し算がわからなくてもひたむきに自分の指を数える生徒。その一人ひとりの生徒には「勉強したい」という思いが、たくさん詰まっています。そういった子どもたちに接することができることに、大変幸せを感じていました。

逆に私がこの更生院で活動してつらかったこと、それは私が大好きな言葉“Asante”（ありがとう）を子供たちが言えなかったことです。物をもらっても、人に優しくされても、子どもたちは何も言わずやり過ごします。そこで私は自分から子どもたちに“Asante”という言葉を使うように心掛けました。風邪をひいてしまったり、心配してくれる子どもたちに“Asante”。授業のあと、ノートや道具などを職員室に運んでくれる子どもたちに“Asante”。

そうすると少しずつ変化が表れ始めました。少しずつ“Asante”と言える子どもたちが増えてきました。授業を受けたときや人に優しくされたとき、少しずつ“Asante”という言葉が聞こえてきました。このことが大変うれしく、自分の活動が実を結んだ瞬間でした。

こんな感動を皆さんも味わってみませんか。苦勞あり、涙あり、感動あり、そんな経験はこの協力隊でしか味わえないものだと思います。こんな感動と一緒に共有しませんか。



小野 恵

派遣国：バングラデシュ
 派遣期間：平成12年12月4日～
 平成14年12月3日
 職種：保健師
 出身：広島県

「日本とは全く比較できないところに行ってみよう」という思いから、協力隊に参加し、バングラデシュの村で、保健師として活動をしました。赴任当初、どこに行っても、何十人も集まってきては、四方八方から私を覗き込んでいました。その後、「両親はいるの？兄弟は何人？年齢は？結婚は？」と、一人ずつ同じ質問をしてきて、さらに「歌って！踊って！」と、健康についての話ができる状況ではなく、かなり戸惑いました。しかし、私を受け入れてもらうために、何回も同じ質問を答え、何回も大きな声で歌いました。

村の多くの女性たちは字が書けず、読めません。宗教や慣習のため女性一人で行くこともありません。そんな女性たちの集会や個別に何度も訪問をしながら、個人的な質問に答え、日常会話をし、機会を見計らって母子保健について話すことを地道に行っていました。赴任して1年過ぎた頃、ある女性が「私は貧しくて学校に行けなかった。あなたがいろいろ教えてくれるのがとてもうれしい。また来てね」と言ってくれました。そこでようやく保健師として受け入れてもらえたと感じました。

協力隊を終え、現在、広島県の病院で働いています。就職はやはり簡単には決まりませんでした。面接では必ず「また外国で暮らしたくありませんか？」と聞かれましたが、その度に「私はバングラデシュで生活をしたことで、日本や広島を別の角度から見ることができ、その上で郷里の広島で暮らすことを選びました。」と答えました。最終的に今の病院に決めたのは、短期バイトで働いたとき、職場の皆さんや患者さんが、日本での看護師、助産師経験の少ない私をととても暖かく受け入れてくれ、正職員で働くことを勧めてくれたからです。日本でもバングラでも、その環境に受け入れてもらうことの大切さは一緒です。早く今の職場に慣れ、一人前になれるようにがんばっています。

協力隊は人生の中でたった2年です。協力隊での経験にこだわらず、でも忘れないでいることが、私のこれからの人生に生きてくると信じています。

JICA中国のHPにも現在活動中のボランティアからの便りをたくさん掲載しています。
 こちらをご覧ください <http://www.jica.go.jp/chugoku/enterprise/volunteer/taiken/index.html>

4. 草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、国際協力の意思をもっている日本のNGO、大学、地方自治体及び公益法人などの団体からの提案を受け、開発途上国への国際協力活動について、JICAがNGOなどの団体との共同事業として実施するものです。協力期間は、3年以内（但し、地域提案型は3年度内）です。団体の規模や種類に応じ、次の3種類の事業形態があります。

草の根協力支援型

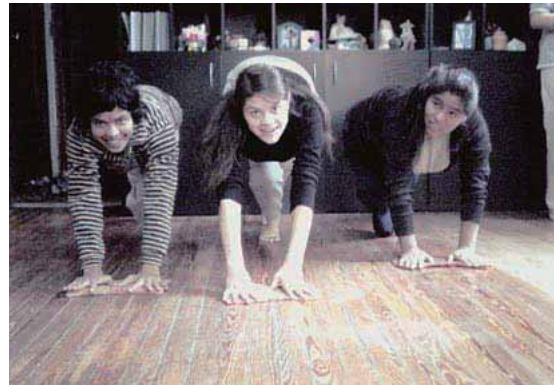
国内での活動実績はあるものの、開発途上国への支援実績が少ないNGOなどの小規模な団体向け。提案を受け、実施するもの。

草の根パートナー型

開発途上国への一定の支援実績を有しているNGOなどの団体が、これまでの活動を通じて蓄積した経験や技術に基づいて提案を受け、実施するもの。

地域提案型

地方自治体からの事業提案により、日本の地域社会が持つノウハウ・経験を活かし、現地での技術指導や開発途上国からの人材の受け入れを通して、途上国の人々や地域の発展に役立つ協力活動の提案を受け、実施するもの。



木の床での学習会のはじめは、ゾウキんがけから。この国の青年にとってももちろん初めて「アルゼンチン・ママ、パパ、家族でできる障害児発達 アルゼンチンに障害児発達指導員を」南米ひとねっとハポン

4月

草の根協力支援型案件随時募集
以下継続案件の実施契約締結
「ホンジュラス・エルパライス県母子保健向上支援事業」(パートナー型)
「ザンビア・カニヤマ及びマケニ地区における結核・エイズ統合支援事業」(パートナー型)
「ラオス・ラオス国ルアンナムター県ナムハー地区における農林業による村おこし」(支援型)
「アルゼンチン・ママ、パパ、家族でできる障害児発達 アルゼンチンに障害児発達指導員を」(支援型)新規の実施契約締結

5月

6月

草の根パートナー型第1回募集締切
「カンボジア・カンボジアにおける小学校教員の授業能力の向上」(提案型)継続の実施契約締結
「カンボジア 小学校体育科教育振興プロジェクト」(パートナー型)新規の実施契約締結

7月

「中国 江西省高齢者介護教員養成事業」(パートナー型)新規の実施契約締結

8月

地域提案型募集開始
「中華人民共和国・寧夏回族自治区における汚泥総合利用技術の確立」(提案型)継続の実施契約締結
「中国 安順市における環境保全管理研修」(地域提案型)新規の実施契約締結
地域提案型募集締切

9月

草の根パートナー型第1回採択内定案件決定

10月

11月

草の根パートナー型第2回募集締切
地域提案型採択内定案件決定

12月

「中国 中国寧夏回族自治区農村部等での汚水処理・汚泥・家畜糞尿有効活用」(地域提案型)採択内定

「モンゴル中央県・中央病院における妊産婦の健康管理向上」(地域提案型)採択内定

1月

「ホンジュラス・エルパライス県母子保健向上支援事業フェーズ2」(包括型)新規の実施契約締結

2月

草の根パートナー型第2回採択内定案件決定

3月

「ネパール ナワルパラシ郡における母子の健康改善のためのコミュニティエンパワメント事業」(パートナー型)採択内定

草の根協力支援型

「ラオス国ルアンナムター県ナムハー地区における農林業による村おこし」

アジア農村協力ネットワーク岡山 代表 小林 勉

アジア農村協力ネットワーク岡山では平成20年7月から、少数民族が多く居住するラオス北部ルアンナムター県においてマンゴーや柑橘類などの果樹、カルダモンなどの薬用植物の植栽を行い、農村活性化を図っています。

この事業は既に1年半が経過しました。この間、4つのプロジェクト村から3名ずつのキーパーソンを選出し、彼らの希望にあわせて樹種を決定し、果樹とカルダモンなどの薬用植物を植栽してきました。また同時に現地の果樹から実生で台木苗の生育、さらに接木の技術も指導しました。さらに、同じプロジェクト村で実施している岡山ロータリークラブ主催の家畜銀行事業による、豚の飼育によって得られる家畜糞から堆肥を作ることも学んでもらっています。ラオス北部では一般的に土壌は肥沃ではなく、雨季と乾季の区別が明確であることから、果樹を植えた後のケアも重要であるということも学んでもらっています。

ルアンナムター県からは平成21年9月に2名の研修生を招聘しました。研修では、西日本における柑橘やマンゴーの先進栽培地域を訪問、様々な農産加工の方法などを学んでもらいました。平成22年度は3名の招聘を予定しています。またキーパーソンには国内先進地域視察で、オレンジの栽培の盛んなルアンパバーン県にて研修を受けてもらいました。果樹の仕立て方、堆肥の作り方など色々と刺激を受けたようでした。

市場の開拓も重要です。そこでプロジェクト村の一つにロードサイドマーケットを開設しました。ここで収穫した果樹はもちろん、伝統的な手法で製造した地酒などを販売しています。近年この地域には中国雲南省からタイのナーンにいたるスーパーハイウェイが開通したため、このロードサイドマーケットに期待が寄せられています。

また果物の収穫時期は短く、集中することから青果だけでなく加工品の開発も必要です。小規模ながら、レモン果汁の瓶詰め等の製作も始めました。最近タイからの人工レモンジュースが流入してきているので、この天然果汁100%のレモンジュースは人気が出るのではと期待しています。

果樹の植栽から収穫、さらには定常的にまとまった量の収穫ができるまで時間がかかります。そこで、このプロジェクトを通じて薬用植物や農産加工、家畜の飼育など多角的な手法を取り入れてできるだけ早い時期から収入に結びつくような方法を自らの技術として身につけてくれることを期待しています。



収穫の始まったレモンの苗木



台木苗（接ぎ木する際に台になる木）の畑とキーパーソン

5. 開発教育支援・市民参加協力推進事業

“もっと、国際協力を身近に感じて欲しい！”

“開発途上国について知って欲しい！”

JICA中国では、これまでの国際協力活動を通して蓄積してきた開発途上国や国際協力に関する様々な情報や経験を、学校や地域社会に還元しています。海外で活躍した青年海外協力隊員による出前講座や海外研修員の学校訪問など、楽しく参加して、たくさん学べる機会をご用意しています。皆さん、奮ってお申込み・参加ください。



高校生プログラム(「なりきり青年海外協力隊」として活動を報告しています)

日程	市民参加協力推進事業	教師海外研修	国際理解教育研修会	研修員の学校訪問	高校生国際協力体験プログラム	国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト
4月		募集	募集	募集 4/23 応募締切		
5月		5/7 応募締切 	5/8 第1回研修会締切 5/23 第1回研修会	5/15 北広島町立雲月小学校 5/22 岡山市立石井小学校	募集	
6月	平成21年度市民参加協力推進事業 随時実施 (出前講座、施設見学など)	6/20-21 第1次派遣前研修	募集		6/30 応募締切	6.17 募集開始
7月		海外研修出発前日 出発前オリエンテーション 7/25-8/8 海外研修		7/17 神戸高原町立豊松中学校	7/6 決定通知 7/31-8/2 実施	募集
8月	8/18 山口県国際理解教育研究会	8/31 研修報告書提出締切	8/28 第2回研修会締切	8/28 広島県立広高等学校 9/4 広島市立安西小学校 9/7 府中市立府中小学校 庄原市立粟田小学校 9/11 広島大学付属中・高等学校 9/14 尾道市立土堂小学校 9/15 広島大学付属東雲小学校		9.10 募集締切
9月	9/5 地球にスマイルinくらしき	9/12 第1次帰国後研修 	9/13 第2回研修会	10/7 海田東小学校	9月中旬 プログラム後のレポート/エッセイコンテストのコピー提出締切 	
10月	10/10 酒まつり		募集	11/20 広島大学福山中・高等学校 11/26 広島市立狩小川小学校		
11月	11/15 国際交流・協力の日					
12月		12/24 実践報告書提出締切				
1月		1/23 第2次帰国後研修	1/8 第3回研修会締切 1/23 第3回研修会	1/15 東広島市竹仁小学校 竹原市立仁賀小学校 1/22 安芸太田町立戸内中学校		
2月	2/14-2/21 カンボジア・スタディーツアー					2.13 表彰式(JICA中国)
3月						
視聴覚資料の貸し出し		JICA中国施設見学		国際協力出前講座		
随時申込受付・実施						

詳細は、JICA中国HP (<http://www.jica.go.jp/chugoku/>) をご参照ください。

研修員の学校訪問 ～ 庄原市立栗田小学校 ～



中南米のダンス「メレンゲ」を一緒に練習

「研修員の皆さんがどこの国から来たのか、みんなで見てみましょう！」先生の声かけで画面の世界地図が動き出し、各研修員の出身国を探るところから交流会は始まりました。

9月7日に訪れた庄原市立栗田小学校は山間部にある、全校生徒23名の小学校です。同校へは中南米9ヶ国から12名の研修員が参加しました。

前半は研修員の自己紹介から始まりました。日本語で名前を伝え、その他の部分はボランティア通訳が訳して伝えました。最初にインターネットでグーグル

アースを使い、各研修員の出身国の場所を確かめる生徒たち。

研修員が1人1人、母国の良いところを伝え、「君たちもいつか私たちの国にも遊びに来てね！」と言うと、「絶対行く！」嬉しい声も上がりました。

その後、ボリビアから来た研修員がダンスを披露。生徒達は初めて見る踊りに興味津々です。その後、研修員が先生となり、中南米のダンス「メレンゲ」を習いました。初めてのダンスに生徒たちも一生懸命ついて行こうと必死です。腰の動かし方が難しく、足踏みが止まってしまう生徒も。楽しい授業になりました。

後半は生徒たちによる日本の紹介です。班ごとに日本の紹介をします。広島には2つの世界遺産があること、そして日本の食べ物（梅干）を紹介。また日本の遊び紹介では、生徒がけん玉やコマ回しを披露。交流会では生徒全員がけん玉の先生になり、研修員に教えました。日本語が出来ない研修員ですが、生徒たちの様子を見て、見よう見真似で頑張ります。剣先に玉が入ると大歓声が挙がりました。

給食の文化がない国からやってきた研修員。中南米と日本の両方にある食材を使った給食が準備され、生徒による食材の説明、そして研修員による母国での調理方法について説明がありました。言葉は通じなくても身振り手振りで「これ、美味しいね！」と以心伝心。楽しく美味しく昼食を頂きました。

ある研修員の1人から、1人の生徒に対し「私にもあなたと同じくらいの子どもがいるの。あなたを見て自分の子どもが元気に過ごしているかなと寂しくなりました。でもあなたやみんなの笑顔を見て元気を分けてもらいました、ありがとう。」

生徒たちにとって、異文化理解の良い機会となりました。また、研修員にとっても今回の学校訪問は日本の学校制度を知る機会、そして生徒たちから元気を分けてもらう良い機会になりました。



みんなで給食を食べました。

マラウイに出会った夏 ～ 7人の教師が、アフリカに行ってきました～

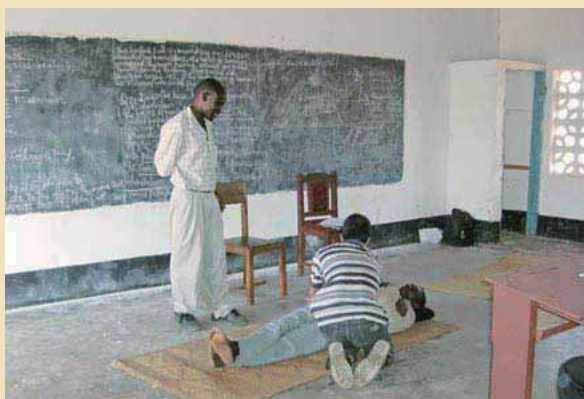
2009年の夏、「教師海外研修」というJICAのプログラムで、7名の先生がアフリカのマラウイ共和国を訪問しました。7月25日から8月9日までの15日間の現地研修では、マラウイ共和国で国際協力に関わっている人たちの活動現場などを視察しました。

「マラウイ」という国は、日本ではそれほど知られていない国ですが、マラウイ産の紅茶やタバコなどが日本にも輸出されています。また、琵琶湖の40倍ほどの大きさであるマラウイ湖と呼ばれる世界遺産があり、「ウォームハートオブアフリカ（アフリカの温かい心）」と呼ばれるほど、穏やかな心を持つ国民性で有名な国でもあります。

「マラウイの平均年齢は40歳。」日本でその事実を周囲の人に伝えると大抵の人は驚いた反応をします。エイズや栄養不足、医療の問題などで命を落とす子どもの割合が多いため、そのような数字になるという状況があるそうです。マラウイの町中で、子どもサイズの棺桶が沢山販売されている光景や、エイズ予防啓発に関する看板などを眺めながら、その現実を感じました。研修では、「エイズ対策」という職種で活動する青年海外協力隊の活動現場にも足を運びました。その村の子どもたちの吸い込まれそうな瞳と、溢れんばかりの笑顔が強く心に残っています。



温かく迎えてくれた村の小学生たち



エイズ対策で活躍する小川隊員のワークショップ

研修中に訪問したマラウイの学校では、机がない、ノートがない、鉛筆がないといった状況の中、真剣なまなざしで勉強する生徒の姿がありました。「日本では当たり前のことが、当たり前ではない状況が世界には沢山あること」、「学ぶことができるありがたさ・学ぶことの素晴らしさ」をあらためて感じた学校訪問でした。

現地料理の調理体験プログラムが組み込まれていた日は、食材を買う為にみんな市場に足を運びました。マラウイの主食「シマ」を作るための「トウモロコシの粉」、鳥の煮込み料理に加える野菜「トマト」と「玉ネギ」、お菓子を作るための「卵」など色々な材料を市場で調達しました。そして最後に購入したのは、煮込み料理の主役.....それは「生きたままのニワトリ」でした。



マーケットで生きた鶏を購入

スーパーでパック詰めの肉を買い、料理に使うことが当たり前になっている日本の私たちにとって、生きたニワトリからの調理体験はとても貴重な時間となりました。

箸やスプーンを使わずに「手」でごはんをいただくマラウイの食事方法。一切れの肉を手にした指先からは、命の重みが伝わってきました。

視察の先々では、「青年海外協力隊」をはじめとする、国際協力活動に携わっている多くの人たちとの出会いがありました。食べ物、言葉、文化など様々なことが日本とはまるで違う異国の地での活動は、大変なことが沢山あるだろうということが容易に想像できます。水道のない家に住む隊員。電気が通っていない家に住む隊員。そんな状況でも、マラウイの人たちと同じ目線を持つことを大切に、試行錯誤しながら活動している彼らの姿は、キラキラとしていて、とても清々しくもありました。

「困っている人に協力したい。そんな心がたまたま国境を越えただけです。」現地で国際協力に関わっているJICAスタッフからの言葉。日本で暮らす日常の中でも、傍にいる人を思いやる気持ち、他人の喜びを自らの喜びとして感じる心を大切にしたいなと感じました。そこに「国際協力」の原点があるような気がします。

帰国後、先生方は開発途上国及び国際協力に対する見聞を広め、各々の教育現場で授業実践に取り組みました。

子どもたちは、目を輝かせて、先生方の経験を吸収することでしょう。

「マラウイでの経験を子供たちに...」先生方の熱い思いを子供たちに伝えられるよう、これからもJICAは教育現場への開発教育支援を続けます。

教師海外研修の詳細及び先生方の報告等は

JICA中国 ホームページ

<http://www.jica.go.jp/chugoku/enterprise/kaihatsu/index.html>

に掲載されています。

6 . 大学との連携協力

大学連携の意義

JICAにとって大学との連携は、事業の質的向上、援助人材の育成、地域発の事業展開の活性化などにメリットが生じる可能性があり、特に、知の集合体として大学が蓄積されてきた知見を国際協力事業に一層活用させて頂きたいと思っております。また、大学側にとっては、JICAとの連携により研究のフィールド獲得の可能性の拡大や、国際化の一層の促進につながる、等のメリットが生じる可能性があります。

JICA中国における大学連携

JICA中国の主な業務は、海外からの研修員の受入と市民参加協力の実施です。前者については、各大学の優位な分野において、教育機関としての力を発揮し人材育成に寄与いただいております。後者については、青年海外協力隊等ボランティアの海外派遣、地域NGOによる海外での草の根技術協力の支援、学生等を対象にした開発教育（国際理解教育）支援です。下表はこれらの業務での平成21年度における連携状況です。このように、大学は、国際協力人材の育成拠点としても期待されます。



H21アジア地域「ノンフォーマル教育拡充」コース在外補完研修ワークショップ



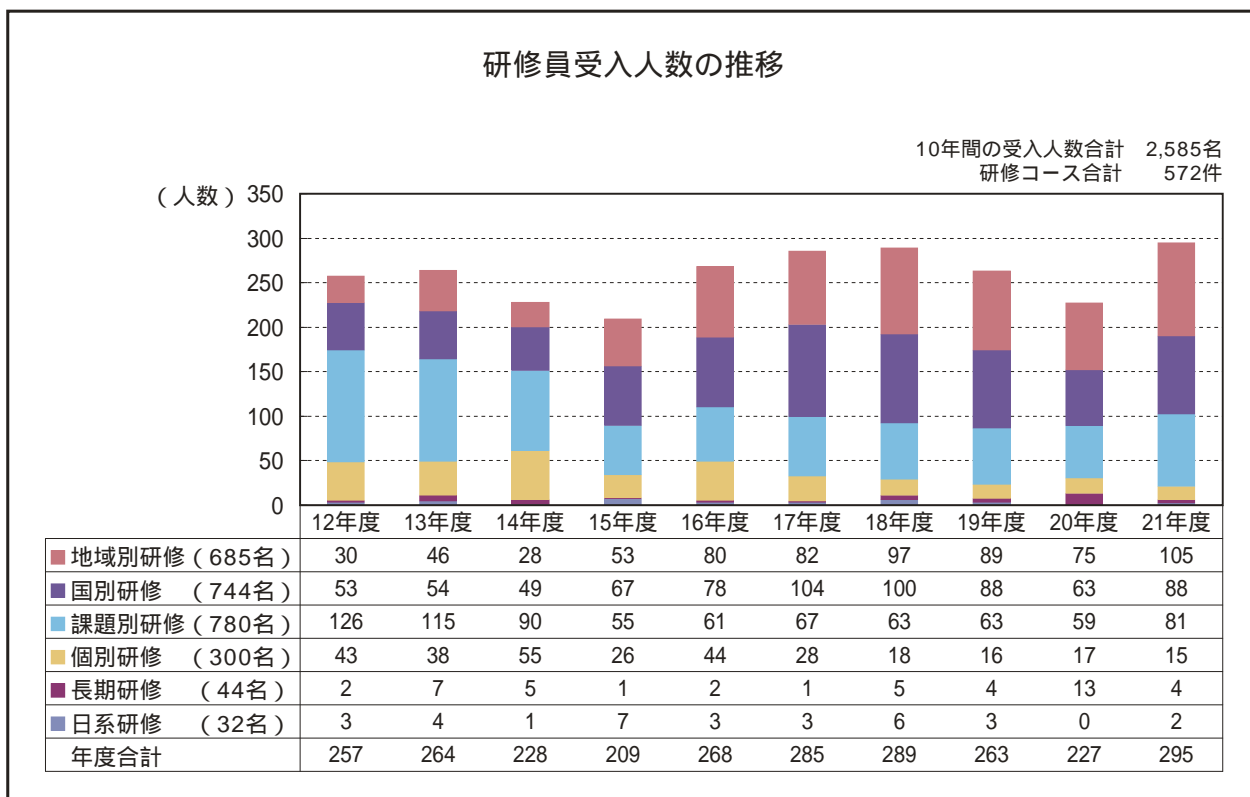
H21アフリカ地域「研究を基礎とした教育の質的向上のための政策形成能力開発」コース閉講式

JICA中国による大学連携実績（平成21年度）

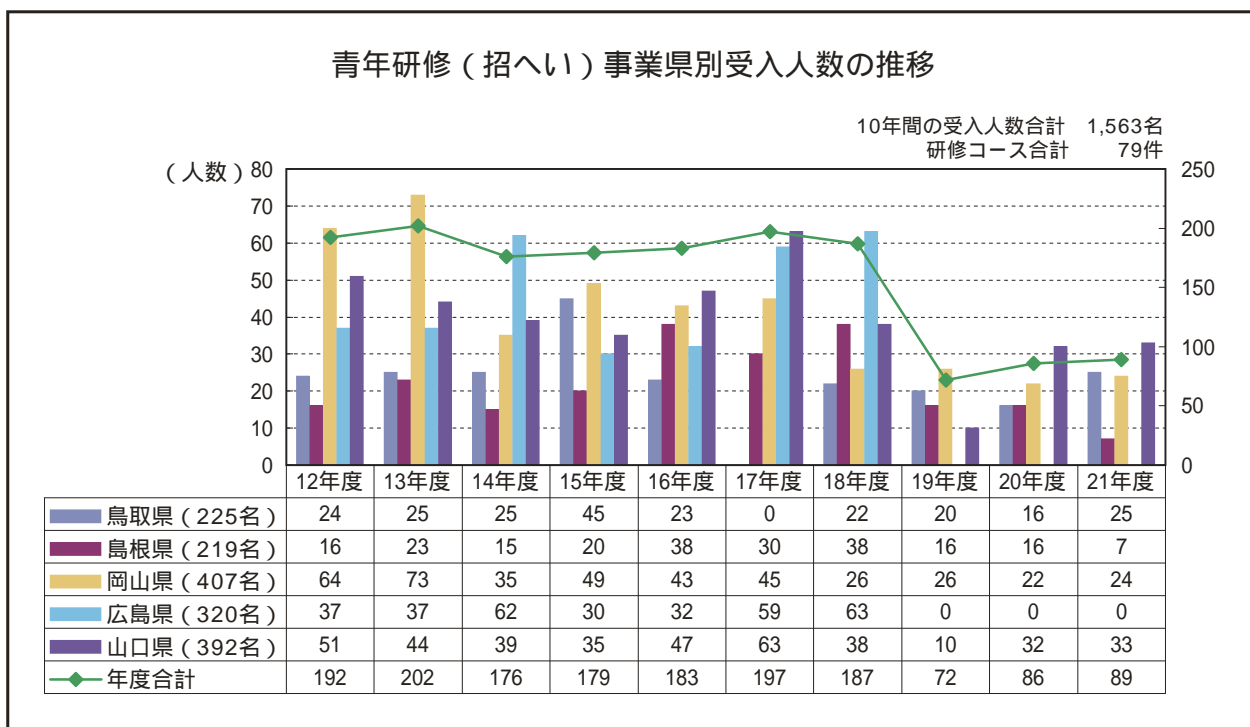
事業区分	連携内容	連携先大学
研修員の受入	海外研修員の受入	広島大学、県立広島大学、鳥取大学、水産大学校、鳴門教育大学
青年海外協力隊	派遣隊員の単位認定	広島大学
	推薦入学制度の適用	広島大学
	特別説明会による募集	広島大学、島根大学、広島国際学院大学、東亜大学、徳山大学、鳥取県立農業大学校、川崎医療福祉大学
開発教育支援	出前講座の実施	広島大学、鳥取大学、川崎医療福祉大学、広島女学院大学、岡山大学、広島国際学院大学、鳥取短期大学、美作大学、島根県立大学、広島修道大学、梅光学院大学
	市民講座、講演の実施	広島大学、広島経済大学、倉敷芸術科学大学
	JICA中国での異文化体験教室	広島大学、広島修道大学
連携講座	「国際協力論」授業への講師派遣	広島大学
包括連携協力	協定書・覚書に基づく協力（特別料金による宿泊施設の使用を含む）	広島大学、山口大学

第2部 過去10年間の事業実績

1. 研修員受入事業実績



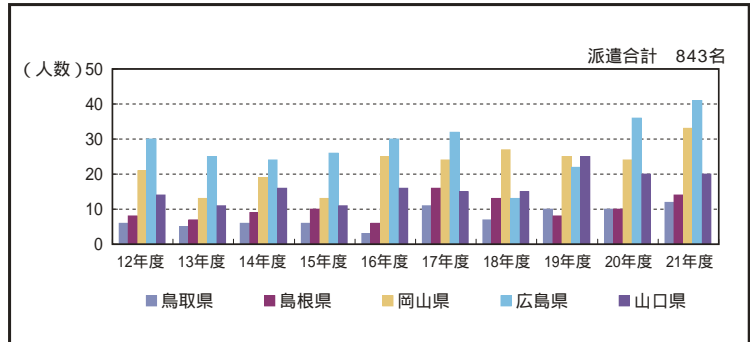
2. 青年研修事業実績



3. 海外ボランティア事業実績

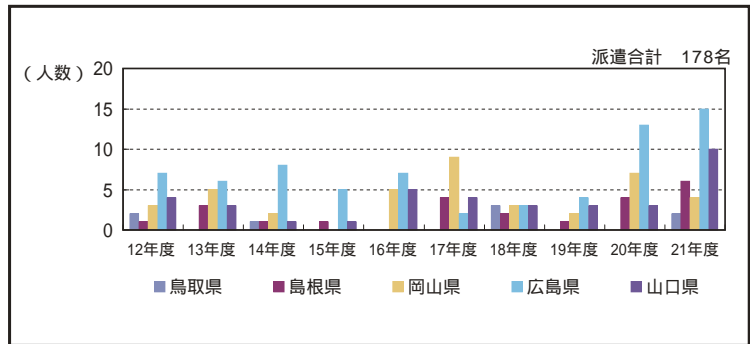
(1) 青年海外協力隊派遣実績

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
12年度	6	8	21	30	14	79
13年度	5	7	13	25	11	61
14年度	6	9	19	24	16	74
15年度	6	10	13	26	11	66
16年度	3	6	25	30	16	80
17年度	11	16	24	32	15	98
18年度	7	13	27	13	15	75
19年度	10	8	25	22	25	90
20年度	10	10	24	36	20	100
21年度	12	14	33	41	20	120
合計	76	101	224	279	163	843



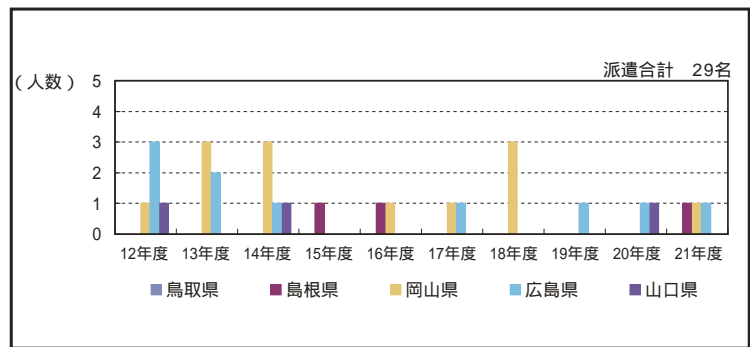
(2) シニア海外ボランティア派遣実績

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
12年度	2	1	3	7	4	17
13年度		3	5	6	3	17
14年度	1	1	2	8	1	13
15年度		1		5	1	7
16年度			5	7	5	17
17年度		4	9	2	4	19
18年度	3	2	3	3	3	14
19年度		1	2	4	3	10
20年度		4	7	13	3	27
21年度	2	6	4	15	10	37
合計	8	23	40	70	37	178



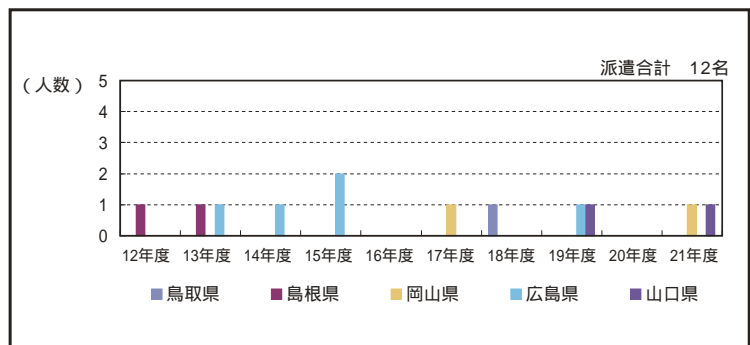
(3) 日系社会青年ボランティア派遣実績

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
12年度			1	3	1	5
13年度			3	2		5
14年度			3	1	1	5
15年度		1				1
16年度		1	1			2
17年度			1	1		2
18年度			3			3
19年度				1		1
20年度				1	1	2
21年度		1	1	1		3
合計	0	3	13	10	3	29



(4) 日系社会シニアボランティア派遣実績

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
12年度		1				1
13年度		1		1		2
14年度				1		1
15年度				2		2
16年度						0
17年度			1			1
18年度	1					1
19年度				1	1	2
20年度						0
21年度			1		1	2
合計	1	2	2	5	2	12



4. 草の根技術協力事業実績（平成14年度～平成21年度）

< 草の根協力支援型 >

国名	プロジェクト名	実施県	団体名	実施期間
モンゴル	中央県における畜産廃棄物・家庭ゴミ堆肥化施設導入	鳥取	鳥取県モンゴル中央県	2002. 4. 1 ~ 2002. 6. 29
ケニア	クワボンザ村伝統手工芸品生産者グループ育成・運営指導計画	山口	山口ケニアを知る会	2002. 4. 1 ~ 2003. 1. 18
南アフリカ共和国	フリーステート州ツェツェン村農業開発支援事業	岡山	特定非営利活動法人B.L.B	2003. 9. 1 ~ 2005. 12. 31
パラオ共和国	パラオ共和国での学校検診実施のための技術協力	広島	日本パラオ協会	2005. 11. 1 ~ 2008. 10. 31
インドネシア	エンレンカン県酪農研修センター運営支援プロジェクト	鳥根	三瓶スラウェシ友好促進センター	2006. 4. 5 ~ 2009. 3. 31
ラオス	ラオス国アンナムター県ナムハー地区における農林業による村おこし	岡山	アジア農村協力ネットワーク	2008. 7. 1 ~ 2011. 5. 31
アルゼンチン	ママ・パパ・家族でできる障害児発達 アルゼンチンに障害児発達指導員を	鳥根	南米ひとねっと八ボン	2009. 4. 6 ~ 2011. 3. 31

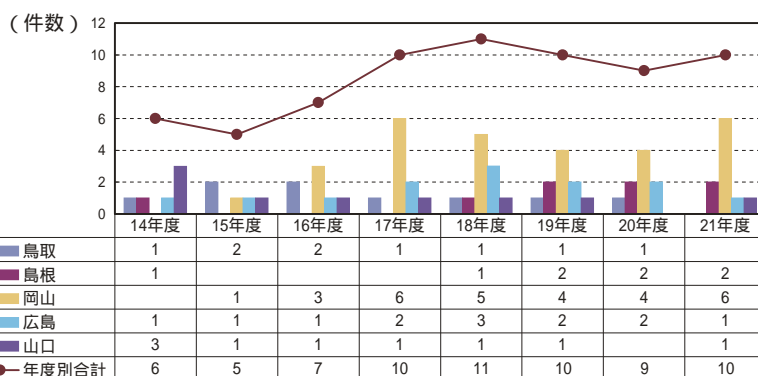
< 草の根パートナー型 >

国名	プロジェクト名	実施県	団体名	実施期間
スリランカ	ワウニア地区基礎保健サービス復興支援事業	岡山	特定非営利活動法人アムダ	2004. 5. 1 ~ 2006. 6. 30
ミャンマー	コーカン特別地域プライマリーヘルスケアプロジェクト	岡山	特定非営利活動法人アムダ	2004. 10. 1 ~ 2006. 8. 31
中華人民共和国	岡山-上海高齢者介護教員養成センター	岡山	社会福祉法人旭川荘	2005. 4. 15 ~ 2008. 3. 31
ザンビア	ルサカ市非計画居住地区結核対策プロジェクト	岡山	特定非営利活動法人アムダ	2005. 7. 1 ~ 2007. 12. 31
カンボジア	小学校体育科指導書作成支援プロジェクト	岡山	特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド	2006. 2. 1 ~ 2008. 7. 31
ホンジュラス	エルパライス県母子保健向上支援事業	岡山	特定非営利活動法人アムダ	2007. 8. 10 ~ 2010. 1. 31
ザンビア	カニヤマ及びマケニ地区における結核・エイズ統合支援事業	岡山	特定非営利活動法人アムダ	2008. 6. 2 ~ 2010. 11. 30
ホンジュラス	エルパライス県母子保健向上支援事業フェーズ2	岡山	特定非営利活動法人アムダ	2010. 1. 26 ~ 2012. 3. 31
カンボジア	小学校体育科教育振興プロジェクト	岡山	特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド	2009. 6. 25 ~ 2012. 6. 24
中華人民共和国	江西省高齢者介護教員養成事業	岡山	社会福祉法人旭川荘	2009. 7. 1 ~ 2012. 3. 31

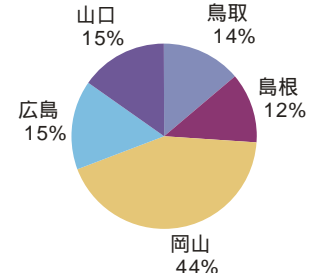
< 地域提案型 >

国名	プロジェクト名	実施県	団体名	実施期間
インドネシア	稀少有用植物の保護・保全	広島	向島洋ランセンター	2002. 10. 7 ~ 2002. 12. 1
ペルー	低公害練炭製造技術	山口	宇部環境国際協力協会	2003. 1. 14 ~ 2003. 3. 2
中華人民共和国	都市環境保全行政	山口	宇部環境国際協力協会	2003. 2. 19 ~ 2003. 4. 27
ブータン	和紙製造技術	鳥根	石州半紙技術者協会	2003. 3. 17 ~ 2003. 3. 28
インドネシア	稀少有用植物の保護・保全（研修員受入）	広島	向島洋ランセンター	2003. 10. 1 ~ 2003. 11. 30
モンゴル	堆肥生産技術及び野菜生産技術（専門家派遣）	鳥取	モンゴル中央県親善協会	2003. 10. 22 ~ 2004. 2. 21
中華人民共和国	都市環境保全行政（研修員受入）	山口	宇部環境国際協力協会	2004. 2. 11 ~ 2004. 4. 18
モンゴル	内科、産婦人科診断技術（研修員受入）	鳥取	鳥取県立中央病院	2004. 3. 29 ~ 2005. 1. 16
モンゴル	野菜生産指導及び堆肥生産技術・流通指導（専門家派遣）	鳥取	モンゴル中央県親善協会	2004. 5. 15 ~ 2005. 3. 22
カンボジア	技術学校（自動車整備・溶接）運営能力向上（専門家派遣/研修員受入）	広島	財団法人ひろしま国際センター	2004. 8. 1 ~ 2004. 11. 5
中華人民共和国	都市環境保全行政（研修員受入）	山口	宇部環境国際協力協会	2004. 10. 31 ~ 2004. 12. 26
モンゴル	堆肥化施設管理・運営計画指導	鳥取	モンゴル中央県親善協会	2005. 6. 27 ~ 2006. 3. 31
カンボジア	カンボジア元気な学校プロジェクト	広島	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	2005. 11. 1 ~ 2008. 3. 31
中華人民共和国	威海市個別研修環境保全パートナーシップコース	山口	宇部環境国際協力協会	2006. 2. 20 ~ 2008. 3. 31
中華人民共和国	重慶市との環境保全交流事業	広島	広島市	2006. 9. 11 ~ 2007. 3. 31
中華人民共和国	日中療育技術交流事業	鳥取	鳥取県立総合療育センター	2006. 10. 16 ~ 2009. 3. 31
中華人民共和国	寧夏回族自治区における汚泥総合利用技術の確立	鳥根	鳥根県	2007. 8. 20 ~ 2010. 3. 31
カンボジア	カンボジアにおける小学校教員の授業能力の向上	広島	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	2008. 10. 1 ~ 2011. 3. 31
中華人民共和国	安順市における環境保管理研修	山口	宇部環境国際協力協会	2009. 8. 18 ~ 2012. 3. 31

過去8年間の県別事業実施実績



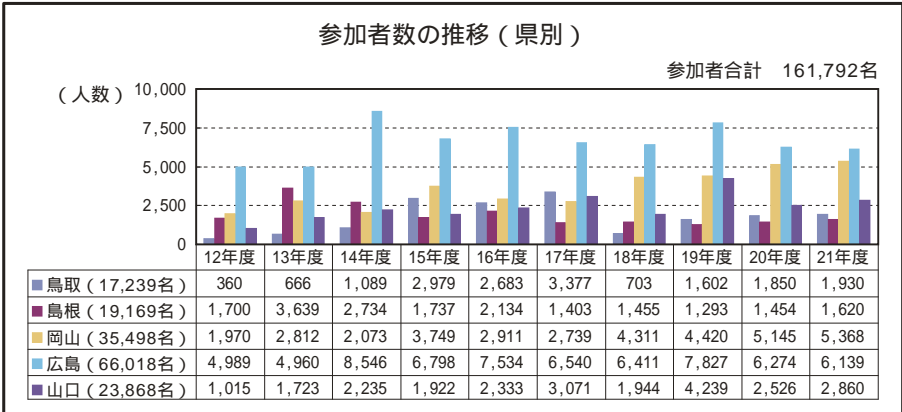
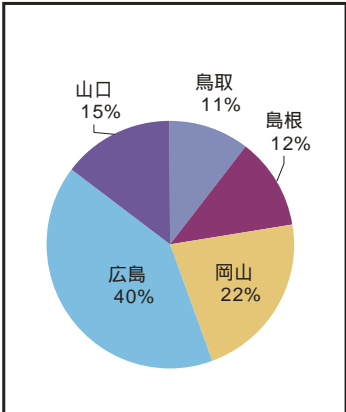
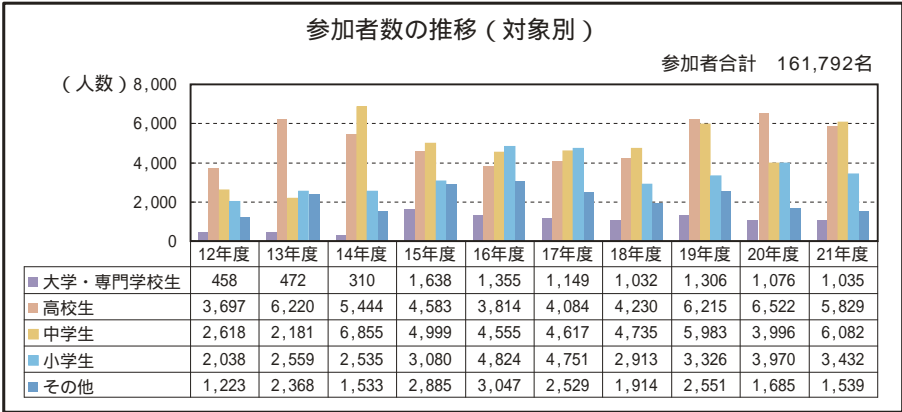
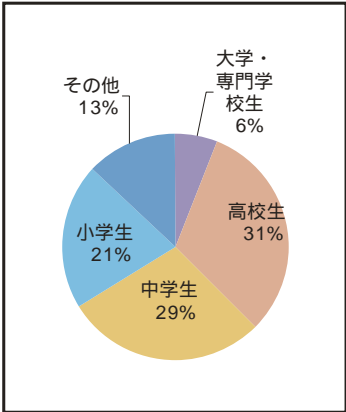
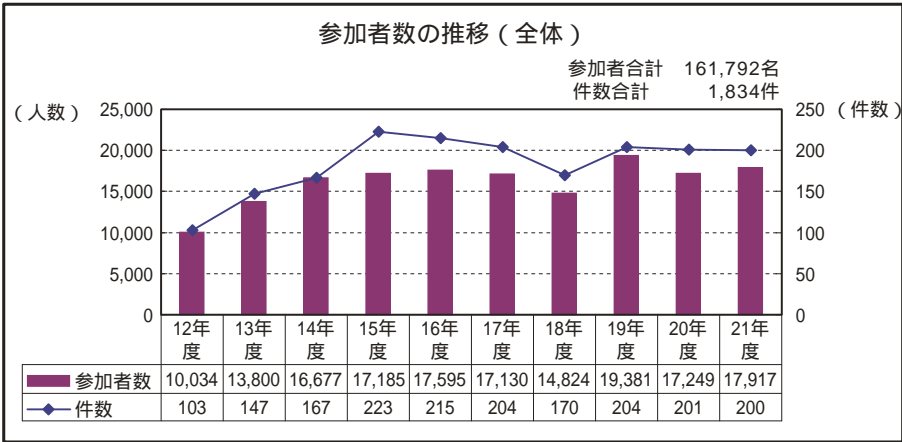
過去8年間の県別事業実施割合



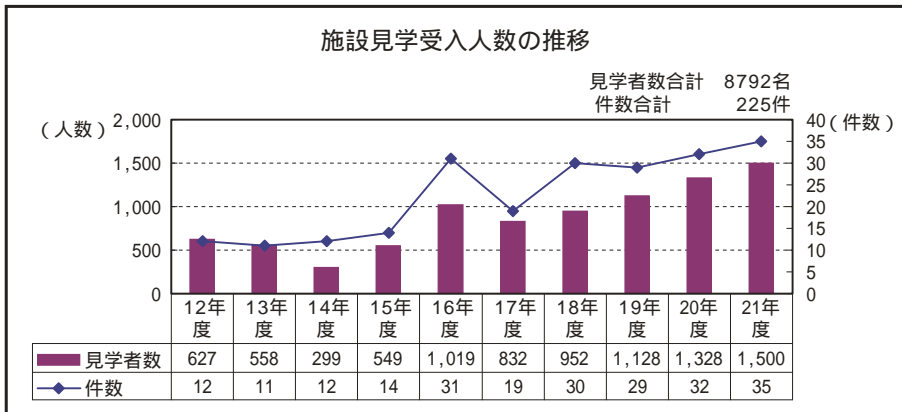
実施期間が1年を超えるものは年度ごとに件数をカウント。

5 . 開発教育支援・市民参加協力推進事業実績

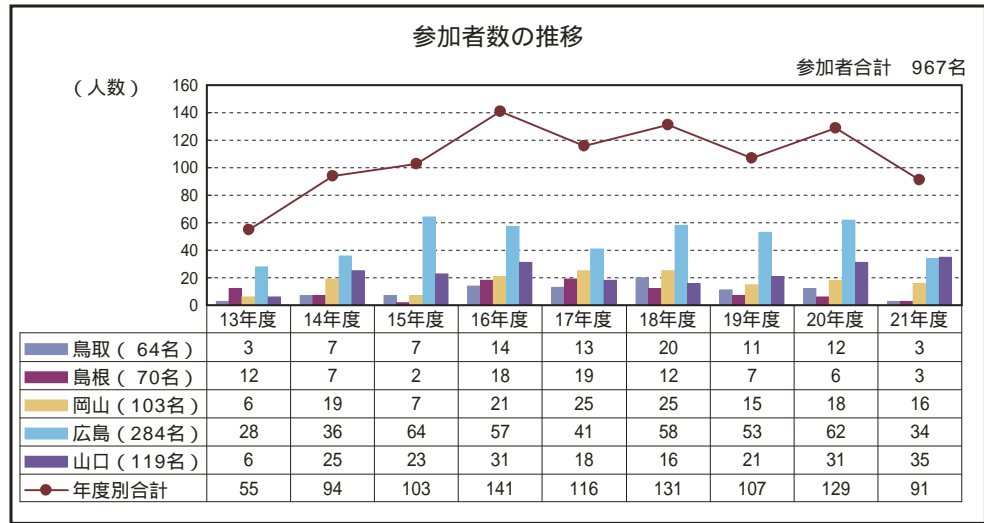
国際協力出前講座



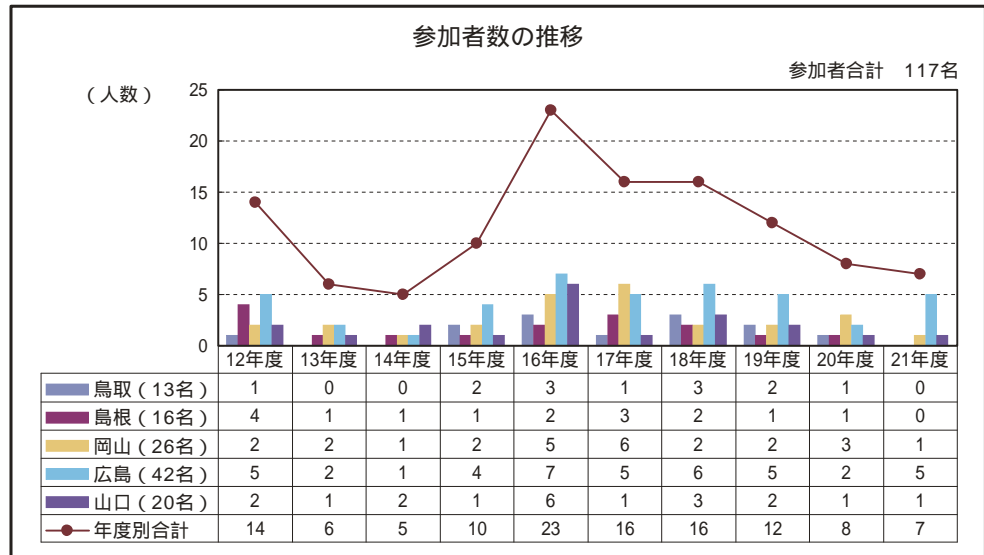
JICA中国施設見学



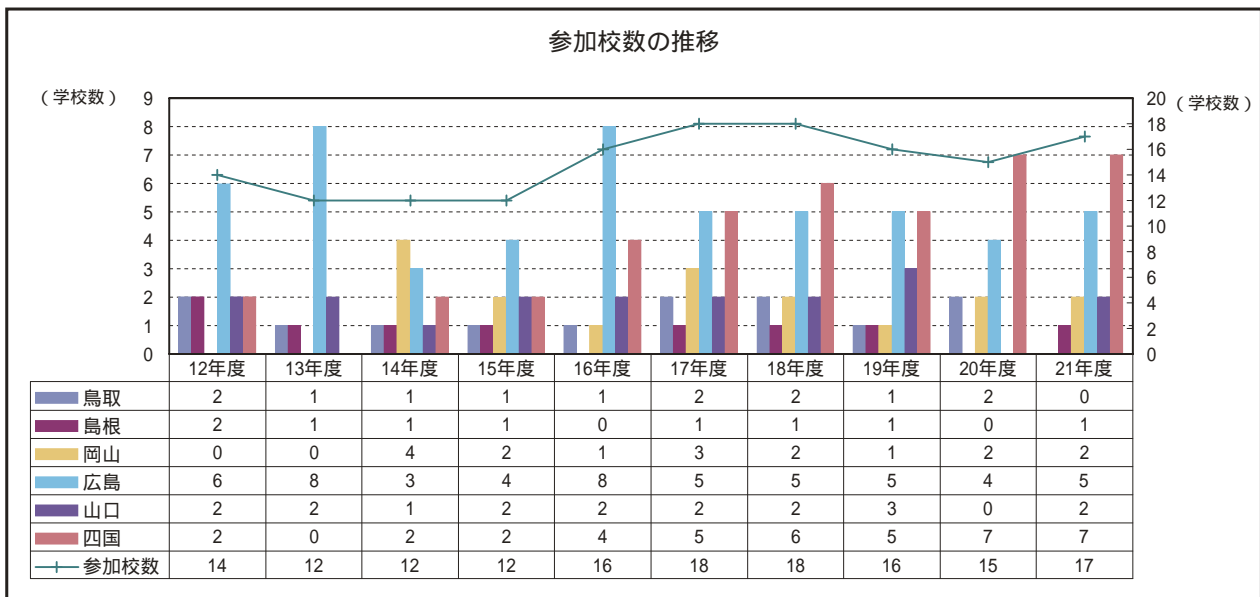
国際理解教育研修



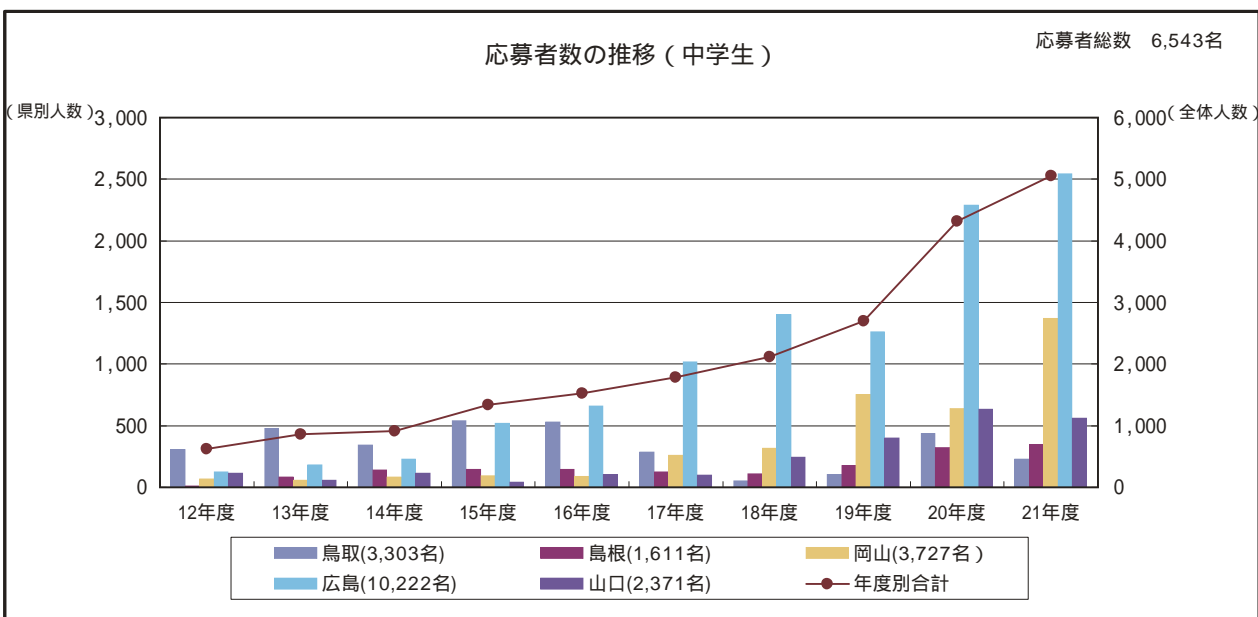
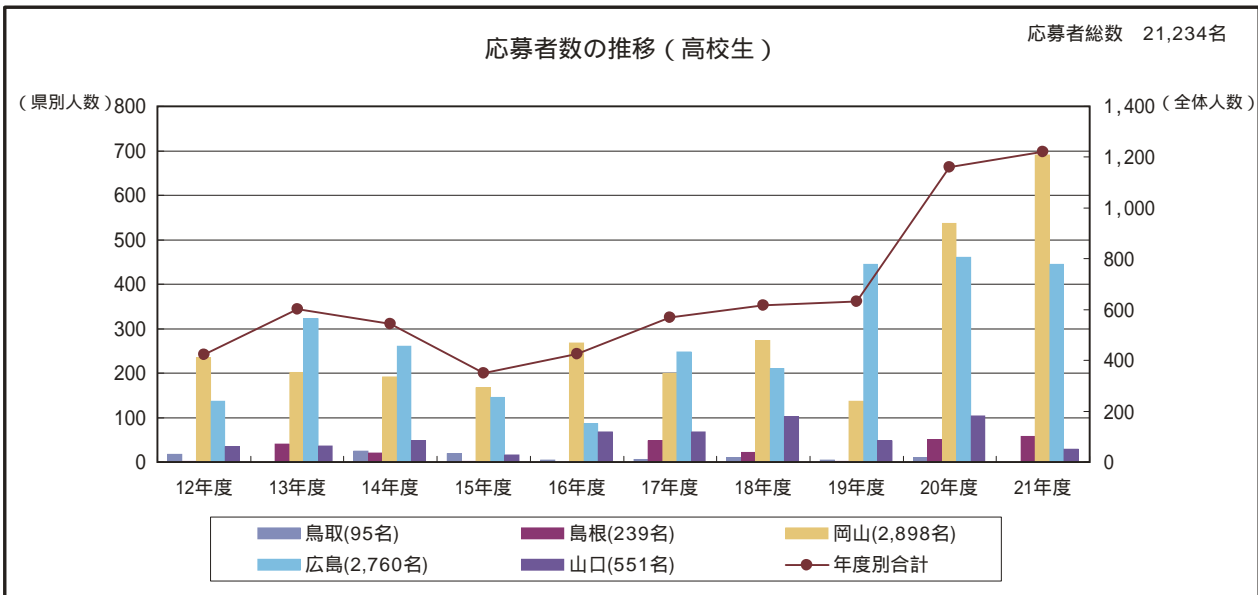
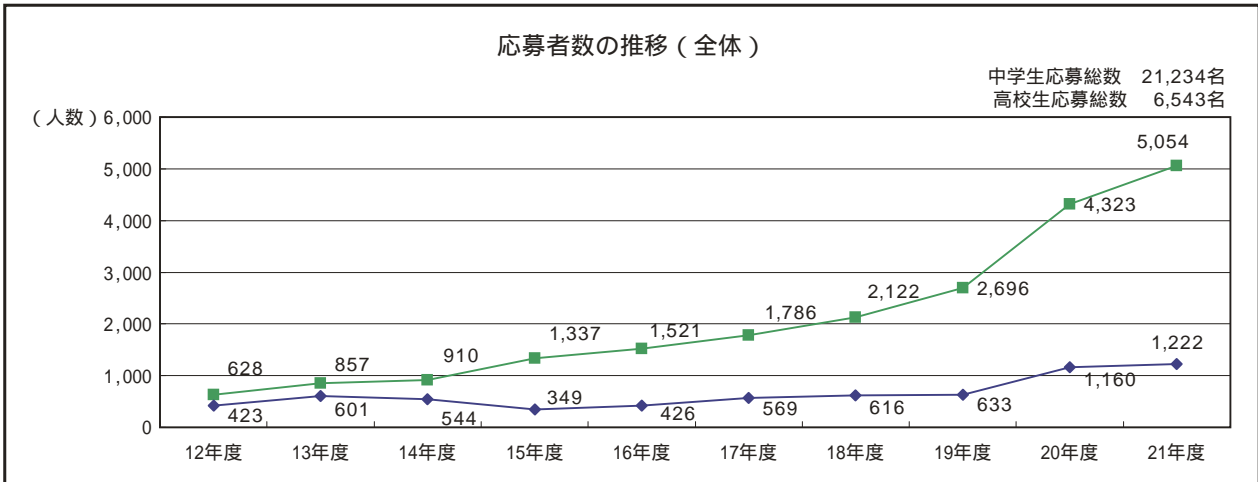
教師海外研修



高校生国際協力体験プログラム



中学生・高校生エッセイコンテスト





第3部

平成21年度事業実績・参考資料

第3部 平成21年度事業実績・参考資料

1. 平成21年度事業実績

研修員受入実績.....	22
研修員福利厚生事業実績.....	25
日本語研修実施実績.....	26
青年研修受入実績.....	27
海外ボランティア新規派遣実績.....	28
草の根技術協力事業実績.....	30
市民参加協力事業（連携事業）実績.....	31
国際協力出前講座実績.....	32
JICA中国施設見学受入実績.....	40
教師海外研修実績.....	42
国際理解教育研修会.....	43
教育行政及び教員組織との連携実績.....	46
研修員の学校訪問実績.....	47
高校生国際協力体験プログラム.....	48
高校生エッセイコンテスト応募実績と入賞者.....	51
中学生エッセイコンテスト応募実績と入賞者.....	52
海外視察等に関する支援・便宜供与実績.....	54
海外記者派遣実績.....	55
職場体験受入実績.....	55
広島大学との連携協力実績.....	56
海外ボランティアによる「原爆展」開催実績.....	57

2. 参考資料

主な関係団体（中国5県）.....	58
国際協力機構の組織図.....	59
JICA中国の沿革.....	60
JICA中国の組織図・業務内容.....	61
JICA中国の職員等.....	62

1. 平成21年度事業実績

平成21年度 研修員受入実績

技術研修員受入実績

合計 295名

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
乾燥地における土地・水資源の適正管理と有効利用	集団	12	アフガニスタン、アルジェリア、ブルキナファソ、スーダン、タンザニア、イエメン、ザンビア、マリ、ヨルダン	平成21年5月6日～平成21年7月31日	(国)鳥取大学農学部・乾燥地研究センター	(国)鳥取大学
ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電	集団	9	インドネシア、ベトナム、バングラデシュ、シリア、トルコ、モンゴル(有償勘定)、ボスニア・ヘルツェゴビナ(有償勘定)	平成21年5月12日～平成21年7月5日	海外電力調査会、(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス	海外電力調査会
中等科学教育実技	集団	8	ガーナ、ケニア、マラウイ、タンザニア	平成21年8月4日～平成21年9月27日	(国)広島大学大学院教育学研究科	(国)広島大学
廃棄物管理総合技術	集団	7	バングラデシュ、ドミニカ共和国、インド、フィジー、ソロモン、パヌアツ、ウルグアイ	平成21年8月11日～平成21年11月8日	広島県環境県民局環境部環境政策課	ひろしま国際センター
持続可能な地域観光振興	集団	12	フィリピン、ベトナム、ミャンマー、インド、キューバ、メキシコ、コロンビア、レソト、キルギス共和国、パレスチナ、ボスニア・ヘルツェゴビナ	平成21年8月18日～平成21年11月1日	広島県(商工労働部)(国)広島大学大学院地域経済システム研究センター	ひろしま国際センター
養殖魚の健康と安全管理	集団	9	トルコ、インドネシア、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ケニア、エジプト、ベナン、国別研修上乘せ：ミャンマー	平成21年9月1日～平成21年11月7日	(独)水産大学校	(独)水産大学校
アフリカ地域 研究を基礎とした教育の質的向上のための政策形成能力開発	集団	7	エチオピア、ボツワナ、ブルキナファソ、ニジェール	平成21年11月16日～平成21年12月13日	(国)広島大学CICE	(国)広島大学CICE
バイオマス利用システム(有償勘定技術支援)	集団	8	ブラジル、フィリピン、ベトナム	平成22年1月11日～平成22年2月14日	広島大学工学研究科、産業総合技術研究所中国センターバイオマス研究センター	広島大学工学研究科
食品加工・保全技術	集団	5	中華人民共和国、フィリピン、カンボジア、ミャンマー	平成22年1月12日～平成22年3月14日	県立広島大学、(独)酒類総合研究所、鳥取大学	ひろしま国際センター
地域水産業の持続的発展に寄与する行政担当者育成	集団	4	パプアニューギニア、タイ、スリランカ、モーリシャス	平成22年3月23日～平成22年6月19日	(独)水産大学校	(独)水産大学校
南東欧地域産業振興政策	地域別	6	ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モンテネグロ	平成21年6月2日～平成21年7月12日	県立広島大学	ひろしま国際センター
中東地域上水道維持管理～配水管網の維持・漏水防止～	地域別	6	エジプト、シリア、イエメン、エジプト	平成21年7月7日～平成21年8月23日	広島市水道局	広島市水道局
アセアン地域海上安全保安能力強化	地域別	9	マレーシア、フィリピン、インドネシア	平成21年8月11日～平成22年3月5日	海上保安大学校	直営(JICE)
中南米地域生活排水処理	地域別	12	ドミニカ共和国、エルサルバドル、ニカラグア、パナマ、アルゼンチン、ボリビア、コロンビア、エクアドル、メキシコ	平成21年8月25日～平成21年11月1日	東広島市	ひろしま国際センター
アフリカ地域(仏語圏)INSET運営管理	地域別	12	ブルキナファソ、ニジェール、セネガル、ベナン、マダガスカル(0)、マリ	平成21年9月29日～平成21年11月6日	(国)広島大学高等教育研究開発センター、広島県立教育センター	ひろしま国際センター
中南米地域中小企業振興政策	地域別	7	エルサルバドル、コロンビア、グアテマラ、パラグアイ	平成21年11月3日～平成21年12月13日	県立広島大学	ひろしま国際センター

(前項に続く)

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
アフリカ地域(英語圏) INSET 運営管理 (A)	地域別	17	ケニア、ナイジェリア、マラウイ、ザンビア、国別上乗せ：ケニア、ウガンダ、ザンビア、ルワンダ	平成21年11月17日～平成21年12月20日	(国)広島大学国際協力研究科、広島県立教育センター	直営(JICE)
アフリカ地域中小零細企業支援機関育成	地域別	10	ナイジェリア、タンザニア、ガーナ、ケニア、マラウイ、ウガンダ、モザンビーク	平成22年1月5日～平成22年3月7日	広島県商工労働部	ひろしま国際センター
アフリカ地域(英語圏) INSET 運営管理(B)マラウイ限定	地域別	15	マラウイ(15)	平成22年1月26日～平成22年2月28日	(国)広島大学国際協力研究科、広島県立教育センター	直営(JICE)
アジア地域「ノンフォーマル教育拡充」	地域別	11	パキスタン、インドネシア、フィリピン、タイ、カンボジア、ラオス、ベトナム(0)、バングラデシュ、インド	平成22年2月17日～平成22年3月14日	(国)広島大学CICE	(国)広島大学CICE
課題別研修 小計		186				
地方行政とマネジメント	国別	4	パレスチナ	平成21年4月12日～平成21年4月19日	広島県	直営
定期点検	国別	6	インド	平成21年5月31日～平成21年6月14日	(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス	(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス
養殖魚の健康と安全管理	国別	1	ミャンマー	平成21年9月1日～平成21年11月7日	(独)水産大学校	(独)水産大学校
INSET 運営管理	国別	2	セネガル	平成21年10月7日～平成21年10月22日	広島大学	直営(JICE)
果樹肥培管理技術	国別	1	ネパール	平成21年10月8日～平成21年12月18日	山口県農林総合技術センター、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センター	直営
医療用画像処理	国別	1	インドネシア	平成21年10月15日～平成21年11月18日	(国)広島大学工学部	(国)広島大学工学部
参加型農村開発プロジェクト(国別研修)	国別	3	バングラデシュ	平成21年10月18日～平成21年10月31日	山口大学地域環境情報科学講座	直営
効率管理	国別	6	インド	平成21年10月19日～平成21年10月31日	(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス	(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス
日本の経験を通じた高等教育の改善	国別	10	エリトリア	平成21年11月9日～平成21年11月21日	広島大学、鹿児島大学、名古屋大学、大手前大学、大阪大学、長岡技術科学大学、北海道医療大学、北海道大学	直営
イラク水力発電	国別	9	イラク	平成21年11月15日～平成21年12月10日	海外電力調査会、中国電力(株)	海外電力調査会
授業研究改善	国別	3	ザンビア	平成21年12月6日～平成21年12月15日	広島大学	直営
インド火力発電(石炭)	国別	8	インド	平成22年1月11日～平成22年2月20日	(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス	(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス

(前項に続く)

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
アフリカ「女性企業家育成支援」(TICAD フォローアップ)	国別	14	ケニア、ザンビア、ジンバブエ、スーダン、タンザニア、ナイジェリア、ボツワナ、マラウイ、モリシャス	平成22年1月26日～平成22年2月28日	広島県	ひろしま国際センター
効率管理	国別	6	インド	平成22年2月3日～平成22年2月15日	(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス	(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス
算数指導法強化	国別	6	ミャンマー	平成22年2月7日～平成22年2月28日	(株)パデコ、広島大学	(株)パデコ
イラク「廃棄物」	国別	10	イラク	平成22年2月11日～平成22年3月13日	広島県環境県民局環境部環境政策課	ひろしま国際センター
肉牛管理技術	国別	5	インドネシア	平成22年2月18日～平成22年3月20日	家畜改良センター(鳥取牧場)	家畜改良センター(鳥取牧場)
リベリア「平和構築のためのガバナンス能力強化」	国別	8	リベリア	平成22年2月23日～平成22年3月18日	(国)広島大学平和科学研究センター	ひろしま国際センター
国別研修 小計		103				
アフリカ初中等教育の質的改善(長期)(平成21年度開始分)	課題別	2	マラウイ、ザンビア	平成21年9月23日～平成23年10月2日	(国)広島大学IDEC	(国)広島大学IDEC
ナイル川流域農業開発・環境保全支援(長期)(平成21年度開始分)	課題別	1	エジプト	平成21年9月23日～平成23年10月2日	(国)鳥取大学農学部	(国)鳥取大学
稲研究人材育成	国別	1	タンザニア	平成21年9月23日～平成23年10月2日	山口大学大学院農学研究科生物資源科学専攻	山口大学大学院農学研究科生物資源科学専攻
長期研修 小計		4				
黒毛和種牛などの高品質肉牛の管理と繁殖のための新たなビジョンの習得	日系	1	ブラジル	平成21年5月10日～平成22年2月6日	(国)山口大学農学部獣医学科	(国)山口大学農学部獣医学科
理学療法(作業療法)による機能回復訓練	日系	1	ブラジル	平成22年1月17日～平成22年3月14日	広島県立障害者リハビリテーションセンター	広島県立障害者リハビリテーションセンター
日系研修 小計		2				

平成21年度 研修員福利厚生事業実績

単位：名

区分	事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間参加人数	
日本文化体験	茶道教室		15	7		12	18	16		13		45		126	
	華道教室			12		8	21	8	22			15	9	95	
	着付け教室				17	24	13	20	29			45		148	
	書道教室					13		8		4		4		29	
	日本文化体験デー							50				98		148	
	伝統芸能鑑賞				12					42		60			114
		注1：次郎丸太鼓								注2：さくらの会		注3：新年交流会			
小 計														660	
レクリエーション	バスツアー			21		36	42	27	56			68		250	
	カクテルパーティー							64					32	96	
	パソコン教室							15	10	11	16	18		70	
	小 計														416
地域交流	ホームステイ					6			3			1		10	
	ホームビジット					8			1					9	
	地域行事参加		7			15		123	6		17			168	
	国際理解講座「HIPで世界を楽しもう！」			4			4			18		8		34	
	ボランティア相談日		6			25			6		7			44	
	ロビーイベント (けん玉・民謡・空手・マンドリン他)		18			30	70	55	35	34		55		297	
	ミニコンサート (ピアノ・民謡・英語落語他)					15	85	30	35	25				190	
	ロビー展示 (池坊活花展示他)								20					20	
	クッキング交流				7									7	
	クッキング交流 (日本料理)							13						13	
小 計														792	
総参加人数														1,868	

注1：次郎丸太鼓

西条酒造組合次郎丸太鼓チームと長東BoomBoomによる、太鼓演奏と交流会。

注2：さくらの会

広島さくらの会の協力により、三味線・琴・太鼓による演奏、南京玉すだれ、混声コーラス、西条酒造り歌なおの民謡、炭坑節等の踊りを交え、研修員と参加者の交流を図った。

注3：新年交流会

研修員が餅つきと正月料理を体験するとともに、ひろしま国際プラザ運営協力者との交流を図った。外国の祝い料理の試食・邦楽KAMOによる邦楽演奏の観賞。

注4：御園宇小学校運動会

研修員が広島県東広島市御園宇小学校の運動会に参加。生徒と一緒に競技を楽しみ、地域住民との交流を図った。

注5：三原やっさ祭り

広島県三原市の三原やっさ祭り参加（三原ライオンズクラブからの招待）研修員とライオンズクラブ会員が「国際交流チーム」として、浴衣姿で三原駅周辺をやっさ踊りを踊りながら練り歩いた。

注6：西条酒まつり

広島県東広島市西条駅前周辺で実施された「酒まつり」に研修員はハッピーを着て参加し、みだればやし（10/11）や酒蔵めぐり（10/12）他、日本の秋祭りを体験した。

注7：御園宇区民祭り

研修員が御園宇公民館で行われた区民文化祭に御園宇地区の住民として参加し、地域住民との交流を図った。

注8：御園宇小学校とんど祭り

研修員が地元（広島県東広島市御園宇小学校）で行われたとんど祭りに参加し、地域の人たちと交流しながら日本の伝統行事を体験した。

平成21年度 日本語研修実施実績

研修コース名	技術研修		日本語研修								備考
	実施機関名	受入数	集中講習	回数	時間数	受講者数	一般講習(登録制)	回数	時間数	対象者数	
地域水産業の持続的発展に寄与する行政担当者育成(平成20年度開始分)	(独)水産大学校	5	4/1~4/10	8	40	5	なし	0	0	0	集中8回(H21実施分のみ。他に2回2009/3/30,31に実施済)
乾燥地における土地・水資源の適正管理と有効利用	(国)鳥取大学農学部・乾燥地研究センター	12	5/12~5/15	3	15	12	なし	0	0	0	集中3回,学校訪問有(北広島町立雲月小学校)
ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電	(社)海外電力調査会,(株)PET	9	5/18~5/22	4	20	9	なし	0	0	0	集中4回,学校訪問有(岡山市立石井小学校)
南東欧地域「産業振興政策」	(公)県立広島大学	6	なし	0	0	0	第1期(入門)	3	6	6	夜間入門3回
中東地域「上水道維持管理」~配水管網の維持・漏水防止~	広島市水道局	6	7/13~7/17	4	20	6	第1期(実践)	3	6	6	集中4回,夜間実践3回(研修日程の都合上,3回),学校訪問有(神石高原町立豊松中学校)
中等科学教育実技	(国)広島大学大学院教育学研究科	8	8/10~8/14	5	25	8	第2期(実践)	9	18	8	集中5回,夜間実践9回
廃棄物管理総合技術	広島県環境県民局環境部環境政策課	7	8/24~8/28	4	20	7	第4期(実践)	10	20	7	集中4回,夜間実践10回,学校訪問有(広島県立広島高等学校)他に広島県受入四川省の3人有り
アセアン地域「海上安全保障能力強化」	海上保安大学校	9	8/17~8/21	5	25	8	第3期(実践)	10	20	9	集中5回,夜間実践10回
持続可能な地域観光振興	広島県商工労働局,(国)広島大学院地域経済システム研究センター	12	9/1~9/7	4	20	12	第5期(実践)	7	14	12	集中4回,夜間実践7回,学校訪問有(府中市立府中小学校)
養殖魚の健康と安全管理	(独)水産大学校	8	9/4、9/8~9/11	4	20	9	なし	0	0	0	集中4回,学校訪問有(広島市立安西小学校)国別等上乘せ1名
中南米地域「生活排水処理」	東広島市	12	8/31~9/7	4	20	12	第6期(実践)	9	18	12	集中4回,夜間実践9回,学校訪問有(庄原市立粟田小学校)集中講習期間のうち,9/1は除く
アフリカ地域(仏語圏)「INSET運営管理」	(国)広島大学国際協力研究科,広島県立教育センター	12	なし	0	0	0	第2期(入門)	3	6	11	夜間入門3回
中南米地域「中小企業振興政策」	(公)県立広島大学	7	なし	0	0	0	第3期(入門)	3	6	7	夜間入門3回
アフリカ地域「研究を基礎とした教育の質的向上のための政策形成能力開発」	(国)広島大学CICE	7	なし	0	0	0	第4期(入門)	3	6	9	夜間入門3回 国別等上乘せ2名
アフリカ地域(英語圏)「INSET運営管理(第1回)」	(国)広島大学国際協力研究科,広島県立教育センター	17	なし	0	0	0	第5期(入門)	3	6	9	2クラス体制 夜間入門3回
イラク水力発電	中国電力(株)	9	なし	0	0	0	第6期(入門)	2	4	9	夜間入門2回
アフリカ地域「中小零細企業支援機関育成」	(財)ひろしま国際センター,広島県商工労働局	10	1/15、1/19~1/22	4	20	10	第7期(実践)	8	16	10	集中4回,夜間入門8回,学校訪問有(竹原市立仁賀小学校)
食品加工・保全技術	広島県立食品工業技術センター	5	1/18~1/22	4	20	5	第8期(実践)	10	20	5	集中4回,夜間実践10回,学校訪問有(安芸太田町立戸内中学校)
インド火力発電(石炭)	(株)PET	6	なし	0	0	6	第7期(入門)	2	4	6	夜間入門2回,学校訪問有(東広島市立竹仁小学校)
アフリカ地域(英語圏)「INSET運営管理(第2回)」マラウイ限定	(国)広島大学国際協力研究科,広島県立教育センター	15	なし	0	0	0	第8期(入門)	3	6	8	2クラス体制 夜間入門3回
アジア地域「ノンフォーマル教育拡充」	(国)広島大学CICE	8	なし	0	0	0	第9期(入門)	3	6	8	夜間入門3回
地域水産業の持続的発展に寄与する行政担当者育成	(独)水産大学校	4	3/29~3/31	3	15	4	なし	0	0	0	集中3回(H21実施分のみ。他に7回20010/4/1~9に実施予定)
合計30コース(264名)		194	13コース	56	280	113	17コース	97	194	157	

- 1 集中講習は、計25時間又は50時間コース。原則として、月曜日から金曜日の5日間(5時間/日)実施。(祝祭日を除く)
- 2 一般講習(実践コース)は、計20時間コース。原則として、火曜日から木曜日のうち週2日(2時間/日)ずつ5週間実施。ただし、受講希望者が5名以上(1コース10名程度)の場合のみコース開設。(実践コース:集中講習受講者対象)
- 3 一般講習(入門コース)は、計6時間コース。原則として、研修の第1週又は第2週に計3日間(2時間/日)実施。(入門コース:集中講習未受講者対象)
- 4 特別活動は、原則として、月曜日又は金曜日に週1日(1~2時間/日)程度実施。(祝祭日及び福利厚生事業実施日等を除く)

平成21年度 青年研修受入実績

合 計 5件
参加者数 89名

県名	国・地域名	分野	人数	受入団体	受入期間
鳥取県	中国	初中等教育行政	25	とっとり青友会	平成21年8月19日～ 平成21年9月5日
山口県	アフリカ (英語圏)	情報通信技術政策	17	世界青年徳山友の会	平成21年11月3日～ 平成21年11月20日
島根県	インド	職業訓練教育	7	島根県地域国際交流協会連合会	平成21年11月9日～ 平成21年11月26日
山口県	マレーシア	都市環境管理	16	宇部環境国際協力協会	平成21年11月23日～ 平成21年12月10日
岡山県	ベトナム	青少年育成	24	津山と世界を結ぶ会	平成21年11月29日～ 平成21年12月16日

平成21年度 海外ボランティア新規派遣実績

(1) 青年海外協力隊新規派遣実績

長期

合計 100名

県名	派遣国	職種
鳥取 9名	タイ	青少年活動
	ラオス	理数科教師
	ケニア	ソーシャルワーカー
	南アフリカ共和国	科学
	ウガンダ	食用作物・稲作栽培
	タンザニア	理数科教師
	ラオス	PCインストラクター
	エクアドル	養護
	タンザニア	コンピュータ技術
島根 11名	エクアドル	家畜飼育
	ブルキナファソ	環境教育
	マレーシア	服飾
	ベトナム	青少年活動
	インドネシア	看護師
	インドネシア	看護師
	ガーナ	家政
	ホンジュラス	青少年活動
	ルワンダ	理数科教師
	ブルキナファソ	村落開発普及員
	タンザニア	看護師
岡山 27名	ジブチ	青少年活動
	ザンビア	青少年活動
	ザンビア	理数科教師
	マダガスカル	エイズ対策
	ネパール	青少年活動
	ニジェール	バレーボール
	モンゴル	小学校教諭
	中華人民共和国	日本語教師
	タイ	日本語教師
	ブルキナファソ	青少年活動
	ジブチ	村落開発普及員
	中華人民共和国	日本語教師
	モンゴル	小学校教諭
	パプアニューギニア	理学療法士
	ザンビア	体育
	カンボジア	青少年活動
	バヌアツ	看護師
	ウガンダ	村落開発普及員
	パプアニューギニア	理学療法士
	ガーナ	家政
	モンゴル	保健師
	モロッコ	助産師
	マラウイ	家畜飼育
	タンザニア	環境教育
	インドネシア	バレーボール
	ガボン	村落開発普及員
	エルサルバドル	環境教育
広島 39名	カンボジア	臨床検査技師
	グアテマラ	小学校教諭
	ソロモン	看護師
	ガーナ	村落開発普及員
	キルギス	PCインストラクター

県名	派遣国	職種	
広島	セネガル	小学校教諭	
	バングラデシュ	工作機械	
	ブルキナファソ	環境教育	
	ラオス	柔道	
	セントルシア	理学療法士	
	グアテマラ	小学校教諭	
	マレーシア	ソーシャルワーカー	
	ウガンダ	理数科教師	
	ベネズエラ	看護師	
	ガーナ	測量	
	コスタリカ	村落開発普及員	
	ドミニカ	音楽	
	ニジェール	理数科教師	
	ホンジュラス	自動車整備	
	ザンビア	体育	
	トンガ	電気・電子機器	
	タイ	日本語教師	
	ブータン	建築	
	モルディブ	PCインストラクター	
	エルサルバドル	環境教育	
	ウガンダ	理数科教師	
	フィジー	野菜栽培	
	ザンビア	村落開発普及員	
	トンガ	医療機器	
	ザンビア	エイズ対策	
	ドミニカ	都市計画	
	中華人民共和国	日本語教師	
	ウガンダ	村落開発普及員	
	モザンビーク	村落開発普及員	
	マダガスカル	青少年活動	
	モンゴル	保健師	
	ブルキナファソ	青少年活動	
	ベナン	村落開発普及員	
	マーシャル	理数科教師	
	山口 14名	パプアニューギニア	理数科教師
		ザンビア	エイズ対策
		マラウイ	理数科教師
		ブルキナファソ	村落開発普及員
		ニジェール	幼児教育
		エチオピア	幼児教育
		グアテマラ	環境教育
		ウガンダ	村落開発普及員
		スリランカ	村落開発普及員
バングラデシュ		感染症対策	
ケニア	村落開発普及員		
スリランカ	環境教育		
エチオピア	PCインストラクター		
セネガル	看護師		

短期

合計 20名

県名	派遣国	職種
鳥取 3名	フィリピン	陶磁器
	ニカラグア	体育
	ガーナ	青少年活動
島根 3名	ニジェール	バレーボール
	メキシコ	村落開発普及員
	トンガ	日本語教師
岡山 6名	インドネシア	青少年活動
	ブルキナファソ	視聴覚教育
	ニカラグア	体育
	ネパール	村落開発普及員
	フィジー	プログラムオフィサー
	ニジェール	バレーボール

県名	派遣国	職種
広島 2名	キルギス	青少年活動
	キリバス	土木
山口 6名	ネパール	環境教育
	ヨルダン	文化財保護
	ニジェール	青少年活動
	ケニア	村落開発普及員
	バングラデシュ	村落開発普及員
	キリバス	PCインストラクター

(2) シニア海外ボランティア新規派遣実績
長期

合計 25名

県名	派遣国	職種
鳥取	フィジー	養殖
島根 4名	ラオス	理数科教師
	ネパール	幼児教育
	チュニジア	自動車整備
	バヌアツ	土木
広島 9名	ホンジュラス	養護
	タイ	養護
	エルサルバドル	観光業
	シリア	日本語教師
	メキシコ	手工芸
	トンガ	養殖
	パナマ	船舶機関
	マレーシア	コンピュータ技術
モンゴル	機械工学	

県名	派遣国	職種
岡山 2名	サモア	自動車整備
	モンゴル	日本語教師
山口 9名	ホンジュラス	音楽
	中華人民共和国	家畜飼育
	ブータン	上下水道
	タイ	漁業生産
	ポリビア	廃棄物処理
	モルディブ	冷凍機器・空調
	カンボジア	電気・電子機器
	カンボジア	土木
タイ	廃棄物処理	

短期

合計 12名

県名	派遣国	職種
鳥取	キルギス	道路
島根 2名	ネパール	看護師
	フィジー	コンピュータ技術
岡山 2名	カンボジア	サッカー
	ベリーズ	手工芸
山口	エチオピア	陶磁器

県名	派遣国	職種
広島 6名	エクアドル	料理
	モルディブ	土木
	ヨルダン	機械工学
	ガイアナ	食品加工
	マレーシア	コンピュータ技術
	中華人民共和国	野球

(3) 日系社会青年ボランティア新規派遣実績

合計 3名

県名	派遣国	職種
島根	ブラジル	栄養士
岡山	ブラジル	日系日本語学校教師

県名	派遣国	職種
広島	ブラジル	日系日本語学校教師

(4) 日系社会シニアボランティア新規派遣実績

合計 2名

県名	派遣国	職種
岡山	ブラジル	看護師

県名	派遣国	職種
山口	ブラジル	ソーシャルワーカー

平成21年度 草の根技術協力事業実績

(草の根協力支援型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
ラオス人民民主共和国	ラオス国ルアンナムター県ナムハー地区における農林業による村おこし	アジア農村協力ネットワーク	平成20年7月1日～平成23年5月31日
アルゼンチン	ママ・パパ・家族でできる障害児発達アルゼンチンに障害児発達指導員の普及を!	南米ひとねっと八ボン	平成21年4月6日～平成23年3月31日

(草の根パートナー型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
ホンジュラス共和国	エルパライス県母子保健向上支援事業	特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構	平成19年8月10日～平成22年1月31日
ザンビア共和国	カニヤマ及びマケニ地区における結核・エイズ統合支援事業	特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構	平成20年6月2日～平成22年11月30日
ホンジュラス共和国	エルパライス県母子保健向上支援事業フェーズ2	特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構	平成22年1月26日～平成24年3月31日
カンボジア王国	小学校体育科教育振興プロジェクト	特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド	平成21年6月25日～平成24年6月24日
中華人民共和国	江西省高齢者介護教員養成事業	社会福祉法人 旭川荘	平成21年7月1日～平成24年3月31日

(地域提案型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
中華人民共和国	寧夏回族自治区における汚泥総合利用技術の確立	鳥根県	平成19年8月20日～平成22年3月31日
カンボジア王国	カンボジアにおける小学校教員の授業能力の向上	ひろしま平和貢献 ネットワーク協議会	平成20年10月1日～平成23年3月31日
中華人民共和国	安順市における環境保全管理研修	宇部環境国際協力協会	平成21年8月18日～平成24年3月31日

平成21年度 市民参加協力事業（連携事業）実績

開催県	市町村	事業名	実施日	会場	共催	後援	対象者	参加人数
岡山県	倉敷市	地球にスマイルinくらしき～エコロジー×国際協力のある暮らし～	9月5日	イオンモール倉敷	倉敷市国際交流協会、(財)岡山県環境保全事業団	倉敷市、倉敷市教育委員会、倉敷芸術科学大学	倉敷市民、近隣市民・県民	約1,400人
	広島市	特別客員教授による特別講義「国際協力の可能性」	10月3日	広島経済大学			一般市民	約100人
	東広島市	酒まつり「ひろしま国際ひろば」	10月10日～11日	西条駅周辺			一般市民	約2,000人
	東広島市	広島中央サイエンスパーク施設公開2009	10月23日	ひろしま国際プラザ			一般市民	109人
広島県	広島市	国際交流・協力の日	11月15日	広島国際会議場、広島平和記念資料館東館、平和大通り緑地帯、平和記念公園	(財)ひろしま国際センター、広島市、(財)広島平和文化センター	広島県、広島県教育委員会、広島市教育委員会、広島県PTA連合会、広島市PTA協議会、広島県高等学校PTA連合会、広島県私立中学高等学校教育後援会、中国新聞社、(株)中国放送、広島テレビ放送(株)、(株)広島ホームテレビ、(株)テレビ新広島、広島エフエム放送(株)	一般市民	約7,400人
		カンボジア・スタディーツアー	2月14～21日	カンボジア	(財)ひろしま国際センター	広島県	18歳以上の広島県民または県内に通勤通学されている方	20人
山口県	山口市	山口県国際理解教育研究大会	8月18日	セントコア山口	山口県国際理解教育研究会	山口県教育委員会、山口市教育委員会、(財)山口県国際交流協会	教員、一般市民	131人
	山口市	山口県国際交流協会創立20周年記念事業 国際活動フェスティバル2010～山口から世界まるかじり!	1月17日	山口県総合保健会館	(財)山口県国際交流協会創立20周年記念事業実行委員会、(財)山口県国際交流協会	山口県、山口県教育委員会、山口市、(財)山口県国際総合センター、(財)山口県ひとづくり財団、(財)やまぐち県民活動きらめき財団、(財)山口県文化振興財団、やまぐち県民活動支援センター、朝日新聞社、読売新聞西部本社、中国新聞防長本社、毎日新聞社、山口新聞社、NHK山口放送局、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、KRY山口放送、エフエム山口、山口ケーブルビジョン	山口県内に在住または通勤通学されている方	約3,000人

平成21年度 国際協力出前講座実績

実施回数： 200件

参加者総数：17,917名

（鳥取県：35件、島根県：31件、岡山県：43件、広島県：53件、山口県：38件）

県名	件数	実施日	派遣依頼団体（ ）内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
鳥取県	1	4月24日	(社)鳥取県高齢・障害者雇用促進協会(鳥取市立中央図書館)	一般市民	16	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	2	4月28日	鳥取大学医学部 国際保健友の会 八クナマタ(鳥取大学医学部)	国際保健に興味のある医学生、看護学生	30	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	3	5月26日	鳥取県看護協会(看護研修センター(県立中央病院))	看護職	14	海外ボランティアの体験談	JOCV
	4	6月6日	鳥取城北高等学校	高校1・2年生、希望者	110	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	5	6月10日	鳥取県立八頭高等学校	高校1年生	37	JICA事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	6	6月18日	鳥取県立八頭高等学校	高校2年生	40	外国の事情について	JOCV
	7	7月4日	(社)鳥取県高齢者障害者雇用促進協会(米子市立図書館)	一般市民	20	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	8	7月10日	境港市立上道小学校	小学6年生	40	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	9	7月13日	湯梨浜町立羽合小学校	小学6年生	77	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	10	7月21日	鳥取県立皆生養護学校	幼・小・中・高等部の幼児、児童、生徒	98	外国の事情について(スリランカ)	国際協力推進員
	11	7月23日	鳥取県立倉吉西高等学校	高校1~3年生、教員	53	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	12	7月25日	鳥取県海外子女教育・国際理解教育研究協議会(湯梨浜町中央公民館羽合分館)	教員、一般(国際理解教育に興味のある方)	20	外国の事情について(スリランカ) ワークショップ、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	13	8月1日	(財)鳥取県国際交流財団(鳥取空港国際会館)	小学3年生~6年生、保護者	50	外国の事情について、ワークショップ、海外ボランティアの体験談	JOCV
	14	9月7日	米子市崎津公民館	地区住民	56	海外ボランティアの体験談	JOCV
	15	9月8日	鳥取市教育委員会 生涯学習課(鳥取市文化センター)	一般成人	31	JICAについて、ODAについて、ワークショップ、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	16	9月15日	鳥取市教育委員会 生涯学習課(鳥取市文化センター)	一般成人	25	JICAについて、海外ボランティアの体験談、外国の事情について	日系SV
	17	10月6日	鳥取市教育委員会 生涯学習課(鳥取市文化センター)	一般成人	22	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	18	10月8日	三朝町教育委員会(三朝町立三朝中学校)	小学4~6年生	42	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	19	10月20日	鳥取市立醇風小学校	小学5年生	65	外国の事情について、ワークショップ、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	20	10月22日	鳥取市立高草中学校	中学1~3年生	151	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	21	10月24日	鳥取市立逢坂小学校	小学6年生	15	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	22	11月14日	鳥取県インターアクトクラブ指導者講習会 米子松蔭高等学校(米子コンベンションセンタービッグシップ)	高校生、成人	32	外国の事情について、海外ボランティアの体験談、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	JOCV 国際協力推進員
	23	11月19日	(社)鳥取県高齢・障害者雇用促進協会(倉吉市立図書館)	一般市民	18	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員

(前項に続く)

県名	件数	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
鳥取県	24	12月7日	八頭町立八東中学校	中学1年生	39	ワークショップ	JOCV
	25	12月11日	鳥取市北地区公民館 館長会(さざんか会館)	各公民館館長	32	JICAについて、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	26	12月21日	岩美町立岩美北小学校 太鼓・インターナショナルクラブ	小学4～6年生	23	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	27	1月15日	境港市立上道小学校	小学4年生、教諭	45	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	28	1月16日	人権を考えるシンポジウム実行委員会(米子コンベンションセンター)	イベント参加者	200	JICAについて、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	29	1月18日	南部町立西伯小学校	小学4～6年生	200	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員 国際協力推進員
	30	1月21日	倉吉市立久米中学校	中学2年生	38	外国の事情について	国際協力推進員
	31	1月22日	琴浦町立東伯中学校	中学1・2年生	25	JICAについて、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	32	1月28日	鳥取中央育英高等学校	高校2年生	200	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV 国際協力推進員
	33	2月22日	岩美町立岩美北小学校 太鼓・インターナショナルクラブ	小学4・5・6年生	23	海外ボランティアの体験談を聞きたい、外国の事情について知りたい	JOCV
	34	2月25日	八頭町立八東中学校	中学3年生	22	外国の事情について、ワークショップ	国際協力推進員
	35	2月26日	八頭町立八東中学校	中学3年生	21	外国の事情について、ワークショップ	国際協力推進員
	島根県	1	5月14日	出雲市立多伎中学校	中学1～3年生	112	JICA事業について、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談
2		6月4日	出雲市立湖陵中学校	中学3年生	20	海外ボランティアの体験談	JOCV
3		6月11日	まつえ市民大学 環境カレッジ(松江市民活動センター)	市民活動センター受講生	45	海外ボランティアの体験談、ワークショップ	国際協力推進員
4		8月10日	島根県高等学校国際教育研究協議会(悠邑ふるさと会館)	高校生、教職員	40	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
5		8月21日	島根県立石見養護学校(緑風園)	養護学校教職員、福祉施設職員	55	海外ボランティアの体験談	JOCV
6		8月22日	社団法人島根県雇用促進協会(くびきメッセ)	中高年齢者	20	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	JOCV
7		9月10日	島根県文化国際課(県職員会館)		9	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	JOCV
8		9月18日	松江市立城北小学校	小学6年生	110	JICA事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
9		10月2日	出雲市立第二中学校	中学1年生	22	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
10		10月3日	(財)しまね国際センター(タウンプラザ)	中学・高校・大学生、一般	15	外国の事情について、ワークショップ	国際協力推進員
11		10月5日	松江市立女子高等学校	高校2年生	111	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
12		10月7日	出雲市立湖陵小学校	小学5年生	3	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
13		10月22日	出雲市立大津小学校	小学3年生	23	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	JOCV
14		10月30日	出雲市立大津小学校	小学6年生	15	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
15		11月1日	島根県インターアクトクラブ指導者講習会(サンレイク(県立青少年の家))	高校1・2年生、インターアクトクラブ部員	90	海外ボランティアの体験談	JOCV
16		11月2日	島根県立出雲商業高等学校	高校3年生	37	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV

(前項に続く)

県名	件数	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
島根県	17	11月6日	トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校	専門学校2年生	50	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	18	11月12日	島根県立松江農林高等学校	高校1年生	40	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員 JOCV
	19	11月21日	島根大学 SMILE	医学生、医療系学生	48	JICA事業について、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	20	12月9日	社団法人島根県雇用促進協会(くまびきメッセ)	中高年齢者	12	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	SV
	21	12月20日	島根県理学療法士会(バルメイト出雲)	理学療法士	80	JICA事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	22	1月13日	三郷町長寿大学(ゴールデンユートピアおおち)		18	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	23	1月25日	安来市立第三中学校	中学1年生	57	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	24	2月4日	安来市立第三中学校	中学1年生	57	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	25	2月4日	安来市立宇賀荘小学校	小学6年生	13	JICA事業について、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	26	2月9日	雲南市立加茂小学校	小学6年生	63	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	27	2月18日	松江市立本庄中学校	中学2年生	30	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	28	2月24日	松江市立中央小学校	小学6年生	73	海外ボランティア体験談、政府開発援助事業について、海外の事情について	JOCV
	29	2月28日	浜田国際交流協会(石見公民館)	一般人	13	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	30	3月1日	横田中学校	中学2年生	78	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	31	3月11日	島根県立松江東高等学校	高校1年生	261	ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
岡山県	1	4月28日	岡山市立西大寺中学校	生徒、教員	700	海外ボランティアの体験談	JOCV
	2	5月12日	岡山学芸館高等学校	高校1年生	62	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員
	3	5月26日	岡山市立岡北中学校	中学3年生	165	JICA事業について、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV 国際協力推進員
	4	6月2日	岡山学芸館高等学校	高校1年生	14	外国の事情について	国際協力推進員
	5	6月5日	岡山学芸館高等学校	高校3年生	16	ワークショップ	JOCV 国際協力推進員
	6	6月9日	岡山市立中山中学校	中学1年生、保護者	200	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	7	6月18日	岡山市立岡北中学校	中学3年生	165	JICA事業について、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV 国際協力推進員
	8	6月23日	岡山市立岡北中学校	中学3年生	165	JICA事業について、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV 国際協力推進員
	9	6月29日	岡山県立岡山城東高等学校	高校2年生	44	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	10	7月3日	岡山大学 国際センター	大学生	200	JICAについて、ODA事業について	JICA職員

(前項に続く)

県名	件数	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
岡山県	11	7月5日	勝英地域市町村社協連絡会(勝中央文化ホール)	中学・高校生	306	JICAについて、海外ボランティアの体験談	JOCV
	12	7月11日	同志社校友会 倉敷クラブ(倉敷国際ホテル)	同窓生	15	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	13	7月15日	岡山学芸館高等学校(前島カリヨンハウス)	高校1年生	14	外国の事情について(カンボジア)	JOCV
	14	7月21日	井原ロータリークラブ(一久)	ロータリークラブ会員	18	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	15	7月27日	岡山大安寺高等学校(ノートルダム清心女子大学 蒜山セミナーハウス)	高校1年生	46	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	16	8月1日	和気町国際交流協会(和気町総合福祉センター)	和気町国際交流協会 会員	24	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	17	8月21日	井原市教育委員会 生涯学習課(芳井生涯学習センター)	一般成人	76	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、ワークショップ、海外ボランティアの体験談	JOCV
	18	10月4日	岡山県企画振興部国際課(岡山国際交流センター)	高校生(県内在籍)	29	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	19	10月26日	岡山県立倉敷天城高校	高校1年生	240	ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	20	10月30日	高梁市立高梁中学校	中学3年生	158	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	21	11月2日	岡山県立勝山高等学校	高校2年生	145	JICA事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	22	11月6日	奈義町立奈義中学校	中学1~3年生、保護者	230	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	23	11月13日	岡山県立岡山朝日高等学校	高校2年生	340	海外ボランティアの体験談	JOCV
	24	11月18日	岡山県立岡山御津高等学校	高校1年生	162	外国の事情について	JOCV
	25	11月20日	岡山県立岡山城東高等学校	高校2年生	44	JICA事業について、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	26	11月20日	岡山市立岡山後楽館高等学校	高校2~4年生	49	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	27	11月20日	岡山県立岡山一宮高等学校	高校1・2年生、教員	630	JICA事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	28	11月20日	わかかさ診療所(岡山医療生協 コムコム会館)	医療関係者	20	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	29	11月28日	岡山龍谷高等学校	高校1・2年生	40	外国の事情について	国際協力推進員
	30	12月9日	岡山県立烏城高等学校	高校1~2年生	125	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	31	12月10日	岡山市立桑田中学校	中学3年生	280	海外ボランティアの体験談	JOCV
	32	12月10日	倉敷市立老松小学校	小学5年生	9	外国の事情について	国際協力推進員
	33	12月21日	川崎医療福祉大学	大学1~4年生	66	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	34	12月22日	美作大学短期大学部	大学1年生	54	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	35	1月8日	岡山大学(岡山大学国際センター)	大学1~4年生	32	外国の事情について、海外ボランティアの体験談、ワークショップ「貿易ゲーム」	国際協力推進員

(前項に続く)

県名	件数	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
岡山県	36	1月17日	庄学区子ども会文化委員(倉敷市立庄小学校)	小学1~6年生	128	JICA事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	37	2月3日	岡山市立鹿田小学校	小学6年生	129	JICAについて、ODAについて、ワークショップ、海外ボランティアの体験談	JOCV
	38	2月9日	矢掛町立小田小学校	小学5年生	11	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	39	2月19日	岡山県立西大寺高等学校	高校1・2年生	80	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、ワークショップ、海外ボランティアの体験談	JOCV
	40	2月23日	岡山学芸館高等学校	高校2年生	16	ワークショップ「貿易ゲーム」	国際協力推進員
	41	3月1日	備前市立伊部小学校	小学6年生	72	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	42	3月8日	津山市役所協働推進課	国際交流ボランティア	25	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	43	3月13日	吉備中央町国際化推進協会(ロマン高原かよう総合会館)	一般	24	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
広島県	1	5月14日	広島女学院大学	大学2年生	43	海外ボランティアの体験談	JOCV
	2	5月21日	広島市立祇園東中学校	中学2年生	172	JICA事業について、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	3	5月22日	広島市立祇園中学校	中学2年生、保護者	205	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	日青ボ JOCV 国際協力推進員
	4	5月28日	広島女学院大学	大学2年生	39	海外ボランティアの体験談	JOCV
	5	5月28日	広島県立高陽高等学校	高校2年生	289	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	6	6月20日	広島県立御調高等学校	中学生、高校生、教職員	63	JICA事業について	国際協力推進員
	7	6月24日	広島学院中学校	中学3年生	185	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV 国際協力推進員
	8	6月24日	福山市立旭丘小学校	小学6年生	110	海外ボランティアの体験談	JOCV
	9	6月27日	(財)広島平和文化センター 国際部 国際交流・協力課(広島国際会議場)	15歳~25歳の青少年	13	JICA事業について	国際協力推進員
	10	6月30日	三次市立宇賀小学校	三教職員、保護者	35	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	日青ボ
	11	7月3日	福山市立大谷台小学校	小学1~6年生	146	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV 国際協力推進員
	12	7月5日	三原市少年少女海外研修・交流実行委員会(三原リージョンプラザ)	中学2年生、事務局等	14	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	日青ボ
	13	7月8日	福山市立山野中学校	中学1~3年生	20	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV 国際協力推進員
	14	7月10日	竹原市立竹原中学校	中学1年生	160	外国の事情について、ワークショップ	国際協力推進員
	15	7月19日	因島ユネスコ協会(中庄公民館)	一般島民、高校生	95	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	16	8月2日	東広島市立西条中学校	中学1年生~3年生	790	外国の事情について	JOCV
	17	8月4日	大崎上島町立大崎上島中学校	中学1年生~3年生	166	海外ボランティアの体験談	JOCV
	18	9月4日	広島市立五日市小学校	小学5年生	142	外国の事情について	JOCV
	19	9月18日	広島市立牛田小学校	小学3年生	150	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV

(前項に続く)

県名	件数	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
広島県	20	9月25日	三原市立本郷中学校	中学3年生	98	海外ボランティアの体験談	JOCV
	21	9月27日	呉市国際交流協会(ビューポート呉)	呉市国際交流協会会員、一般市民	18	海外ボランティアの体験談	JOCV
	22	10月15日	広島県立広島井口高等学校	高校1年生	31	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	23	10月16日	広島市立宇品中学校	中学3年生	219	ODAについて、海外ボランティアの体験談	JOCV 国際協力推進員
	24	10月20日	広島大学附属東雲小学校	小学生、保護者	100	外国の事情について	国際協力推進員
	25	10月21日	東広島市手話サークル(ひろしま国際プラザ)	社会人	9	外国の事情について、海外ボランティアの体験談、ワークショップ	日青ボ
	26	10月23日	竹原市立竹原中学校	中学1年生	161	JICA事業について、海外ボランティアの体験談、外国の事情について	JOCV
	27	10月29日	広島県立賀茂高等学校	高校1、2年生	600	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	28	10月30日	広島県立神辺高等学校	高校1年生	160	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	29	11月1日	広島市国際青年会館(アステールプラザ)	国際青年ボランティア、一般青年	8	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	30	11月4日	尾道市立向島中央小学校	小学4年生	69	外国の事情について、海外ボランティアについて	JOCV
	31	11月5日	ノートルダム清心中・高等学校	中学2年生	93	JICA事業について、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	32	11月8日	広島市国際青年会館(アステールプラザ)	国際青年ボランティア、一般青年	18	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	33	11月11日	広島県立竹原高等学校	高校1年生、教職員	117	JICA事業について、海外ボランティアの体験談、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	JOCV 国際協力推進員
	34	11月12日	ノートルダム清心中・高等学校	中学2年生	94	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	35	11月13日	広島修道大学	大学2年生	9	JICAについて、ODAについて、海外ボランティアの体験談	JOCV
	36	11月19日	広島県立賀茂高等学校	高校1、2年生	25	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JICA職員
	37	11月21日	広島なぎさ中学校・高等学校	中学1年生~高校2年生	2	JICA事業について、海外ボランティアの体験談、外国の事情について(コスタリカ)	国際協力推進員
	38	11月26日	広島県立広島井口高等学校	高校3年生、教職員	270	JICA事業について、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	39	11月29日	ひろしまカンボジア協会(ひろしま国際プラザ)		13	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	40	12月2日	広島県立安芸高等学校	高校3年生	100	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	JOCV
41	12月6日	尾道市教育委員会 生涯学習課(尾道市総合福祉センター)	一般市民(小学4年生以上)	16	外国の事情について	国際協力推進員	

(前項に続く)

県名	件数	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
広島県	42	12月17日	東広島市立小松原小学校	小学1～6年生	24	海外ボランティアの体験談、ワークショップ	JOCV
	43	12月21日	広島市立安佐中学校	中学3年生	269	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV 国際協力推進員
	44	12月23日	広島市青少年センター	高校生	18	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	45	1月19日	広島県立西条特別支援学校	中学生	31	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	46	1月20日	広島県立広島南特別支援学校	小学1～6年生	35	外国の事情について	JOCV
	47	1月23日	東広島市立三ツ城小学校	小学5年生	231	海外ボランティアの体験談	JOCV
	48	2月5日	特定非営利活動法人 ビースビルダーズ(フェアトレードカフェ・パコ)	一般市民、高校、大学生	20	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	49	2月10日	福山市立福山高等学校	高校1年生	200	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	50	2月17日	廿日市市立大野中学校	中学1年生	122	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	51	2月18日	広島市立広島特別支援学校	高等部2年生	70	外国の事情について	JOCV
	52	2月23日	東広島市立八本松中学校	中学1年生	22	JICA事業について知りたい、海外ボランティアの体験談を聞きたい、外国の事情について知りたい	国際協力推進員
	53	3月6日	呉高専留学生 里親会(ビューポートくれ)	留学生、里親	30	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	山口県	1	5月8日	山口南ロータリークラブ(ホテルニュータナカ)	ロータリークラブ会員(50-60代)	36	JICAについて、外国の事情について
2		5月11日	山口大学 フェアトレードサークル cheka	大学生	50	JICAについて、海外ボランティアの体験談	JOCV
3		5月21日	山口県立萩看護学校	看護科3年生	40	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV 国際協力推進員
4		6月5日	日本国際連合協会山口県本部	会員 60-80歳代	30	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
5		6月12日	山口市立白石小学校	小学6年生	92	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
6		6月27日	山口県鴻城高等学校 衛生看護専攻科	専攻科1・2年生、高校3年生	84	JICAについて、外国の事情について(ヨルダン) 海外ボランティアの体験談	JOCV
7		7月14日	山口大学 大学教育センター	大学1～4年生	150	JICAについて、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
8		7月18日	(社)岩国青年会議所	中高年	20	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
9		7月21日	山口県ユネスコ女性連絡協議会(県政資料館)	山口県ユネスコ女性連絡協議会 会員	15	JICAについて、ODA事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
10		8月2日	ザビエル高等学校(ナチュラル・グリーンパークホテル)	高校1～3年生	40	ワークショップ	国際協力推進員
11		9月29日	山口県立萩看護学校	看護科3年生	24	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
12		9月29日	阿武地域グリーンツーリズム推進協会(阿武町立福賀小学校)	小学生、中学生	51	外国の事情について(ガーナ)	JOCV
13		10月2日	長門市立向陽小学校	小学1～6年生、教職員、保護者	88	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
14		10月13日	周南市立大津島小・中学校	小学2年生～中学3年生	33	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員

(前項に続く)

県名	件数	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
山口県	15	10月13日	防府市立華浦小学校	小学4年生	70	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	16	10月21日	宇部市立厚東小学校	小学生	14	海外ボランティアの体験談	JOCV
	17	10月21日	山口県立宇部商業高等学校	高校生	483	外国の事情について	JOCV
	18	10月22日	山口市立島地小学校	小学5・6年生、PTA会員	50	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	19	10月23日	高水高等学校	高校生	84	外国の事情について	JOCV
	20	11月8日	日本ボーイスカウト山口県連盟(阿武町立福賀小学校)	中・高生年代スカウト、一般生徒	30	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員
	21	11月22日	山口県ブラジル親善協会(山口市白石地域交流センター)	一般市民	32	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	日系SV
	22	11月25日	山口県立大学 国際保健サークル Minori - ty	学生	10	ワークショップ	国際協力推進員
	23	11月30日	萩市立育英小学校	小学生	72	外国の事情について	JOCV
	24	12月4日	宇部市立岬小学校	小学生	75	外国の事情について	JOCV
	25	12月5日	山口大学フェアトレードサークル Cheka	大学生、地域住民(子ども含む)	200	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、ワークショップ、海外ボランティアの体験談	JOCV
	26	12月19日	ボーイスカウト 山口第3団(平川地域交流センター)	小学1年生~高校生	45	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	27	1月14日	下関市立木屋川中学校	中学1・2年生	85	海外ボランティアの体験談	JOCV
	28	1月21日	下関市立豊田下小学校	小学1~6年生	120	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	29	1月22日	山陽小野田市立有帆小学校	高校生	110	外国の事情について	JOCV
	30	2月12日	宇部市立小野中学校	中学生	52	外国の事情について	JOCV
	31	2月18日	岩国市教育委員会	灘地区 さくら大学(高齢者大学)	29	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	JOCV
	32	2月18日	山口県立阿知須小学校	小学5、6年生	143	海外ボランティアの体験談を聞きたい	国際協力推進員
	33	2月21日	小郡かあかの会(山口市小郡集会場)	幼児~大人	41	開発教育の参加型アクティビティを実践して欲しい、海外ボランティアの体験談を聞きたい、外国の事情について知りたい	JOCV
	34	2月24日	徳地地域交流センター 串分館	主婦・小学生	30	外国の事情について知りたい	JOCV
	35	2月25日	周防大島町立島中小学校	小学生	20	外国の事情について	JOCV
	36	2月26日	宇部市立原小学校	小学3年生・4年生	122	海外ボランティアの体験談を聞きたい、外国の事情について知りたい	JOCV
	37	3月1日	萩市立須佐中学校	中学1年生	19	海外ボランティアの体験談を聞きたい、外国の事情について知りたい	JOCV
	38	3月5日	山口市立良城小学校	小学6年生	171	海外ボランティアの体験談を聞きたい	JOCV

JOCV : 青年海外協力隊
 日青ボ : 日系社会青年ボランティア
 SV : シニア海外ボランティア
 日系SV : 日系社会シニアボランティア

平成21年度 JICA中国施設見学受入実績

訪問総件数：35件

訪問者総数：1,500名

広島県：31件、岡山県：2件、島根県：1件、兵庫県：1件

NO.	実施日	県名	訪問団体	訪問者	訪問者数	内容
1	4月20日	広島県	福山市立福山中学校	中学3年生	125	JICA事業紹介、JICAボランティアの体験談、ワークショップ、エスニック料理のバイキング
2	4月27日	広島県	広島大学	大学2～4年生	60	JICA事業紹介、JICA中国施設の館内見学
3	5月13日	広島県	広島大学生物生産学部	学生、教員	110	JICAボランティアの体験談、開発途上国の事情について、ワークショップ「もしも世界が100人の村だったら」
4	5月26日	広島県	広島県立御調高等学校	高校2年生	54	JICA事業紹介、JICAボランティアの体験談、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」、エスニック料理のバイキング
5	6月11日	広島県	広島県立呉特別支援学校 高等部2年生	高等部2年生	38	JICA中国の館内見学、民族衣装や民族楽器の体験、エスニック料理のバイキング
6	6月13日	広島県	ひろしま女性大学 福山校 同窓会	女性(40代～70代)	20	JICA事業紹介、JICAボランティアの体験談、ワークショップ、JICA中国施設の館内見学、エスニック料理のバイキング
7	6月22日	広島県	広島県立広高等学校	高校1年生	42	ODA事業について、JICAボランティアの体験談、開発途上国の事情について(アジア)、ワークショップ、エスニック料理のバイキング
8	7月12日	広島県	東広島市立郷田小学校「郷田っ子を育てる会」	小学生、保護者	34	JICA事業について、ワークショップ、JICA中国施設の館内見学、民族衣装や民族楽器の体験
9	7月14日	岡山県	岡山県立林野高等学校	高校1～3年生及び教職員	52	JICA事業紹介、JICAボランティアの体験談、ワークショップ、民族衣装や民族楽器の体験、エスニック料理のバイキング
10	7月22日	広島県	広島県立広島井口高等学校	高校2年生	41	JICA事業紹介、JICAボランティアの体験談、ワークショップ、JICA中国施設の館内見学、エスニック料理のバイキング
11	7月27日	広島県	広島県立広島高等学校	高校2年生	9	JICA事業紹介、ODAについて、JICAボランティアの体験談、ワークショップ、JICA中国施設の館内見学
12	8月26日	広島県	呉市立下蒲刈中学校	中学3年生	13	JICAボランティアの体験談、ワークショップ、エスニック料理のバイキング
13	9月3日	広島県	広島県商工会連合会 職員協議会経営指導員部会		57	JICA事業紹介、JICA中国施設の館内見学
14	9月14日	広島県	海田町自治会連合会	自治会長	30	JICA事業紹介、エスニック料理のバイキング
15	9月18日	広島県	庄原市立口北・口南小学校	小学3・4年生	41	JICA事業紹介、JICAボランティアの体験談、ワークショップ、JICA中国施設の館内見学、民族衣装や民族楽器の体験
16	9月24日	広島県	広島県立世羅高等学校	高校1～3年生	6	JICA事業紹介、JICAボランティアの体験談、開発途上国の事情について、ワークショップ、JICA中国施設見学、民族衣装や民族楽器の体験、エスニック料理のバイキング
17	9月25日	広島県	呉市立宮原中学校	中学3年生	58	JICAボランティアの体験談、JICA中国館内見学、エスニック料理バイキング
18	9月29日	広島県	尾道市立因北中学校	中学3年生	49	ワークショップ、民族衣装や民族楽器の体験、エスニック料理バイキング、
19	9月30日	広島県	三原市立本郷中学校	中学3年生	103	JICA事業紹介、開発途上国の事情について、ワークショップ、JICA中国館内見学、民族衣装や民族楽器の体験、エスニック料理バイキング
20	10月6日	広島県	広島県立呉特別支援学校 高等部3年生	高等部3年生	33	JICA中国の館内見学、民族衣装や民族楽器の体験、エスニック料理のバイキング

(前項に続く)

NO.	実施日	県名	訪問団体	訪問者	訪問者数	内容
21	10月9日	広島県	三次市立吉舎中学校	中学3年生	44	JICAボランティアの体験談、開発途上国の事情について、民族衣装や民族楽器の体験、エスニック料理のバイキング
22	10月15日	広島県	三次市立甲奴中学校	中学1年生	22	JICA事業紹介、JICAボランティアの体験談、開発途上国の事情について、ワークショップ、エスニック料理のバイキング
23	10月19日	広島県	安芸高田市立甲田中学校	中学1年生	47	JICA事業紹介、JICAボランティアの体験談、ワークショップ、JICA中国施設の館内見学、エスニック料理バイキング
24	10月22日	広島県	広島県立広島高等学校	高校1年生	44	JICA事業紹介、ODAについて、JICAボランティアの体験談、JICA中国施設の館内見学、民族衣装や民族楽器の体験
25	10月23日	広島県	尾道市立三成小学校	小学5年生	51	JICAボランティアの体験談、開発途上国の事情について、民族衣装や民族楽器の体験、エスニック料理のバイキング
26	10月29日	広島県	広島大学大学院 教育学研究科 「学習開発実践研究」	博士課程前期 学習科学専攻 学習開発基礎専修1年	18	JICA事業紹介、JICAボランティアの体験談、ワークショップ
27	11月7日	島根県	島根県立大学 佐藤ゼミ	大学2年生、教員	9	ワークショップ、JICA中国施設の館内見学、民族衣装や民族楽器の体験
28	11月20日	広島県	広島修道大学	大学2年生	12	JICA事業紹介、ODA事業について、JICAボランティアの体験談
29	11月27日	広島県	東広島市立高屋東小学校	小学6年生	53	ワークショップ、民族衣装や民族楽器の体験
30	11月30日	広島県	広島県立三原特別支援学校	高等部1年生	34	JICA中国施設の館内見学、民族衣装や民族楽器の体験、エスニック料理のバイキング
31	12月11日	広島県	広島県立黒瀬特別支援学校	高等部1年生、教員	28	ワークショップ、JICA中国施設の館内見学、民族衣装や民族楽器の体験、エスニック料理バイキング
32	2月6日	岡山県	岡山県立岡山一宮高等学校	高校1・2年生	35	JICA事業紹介、ODAについて、開発途上国の事情について、ワークショップ、エスニック料理のバイキング
33	2月24日	兵庫県	神戸学院大学	学生・教員	31	JICA事業紹介、JICAボランティアの体験談、JICA中国施設の館内見学
34	2月26日	広島県	安芸高田市立高宮中学校	中学3年生	46	JICAボランティアの体験談、ワークショップ、JICA中国館内見学、民族衣装や民族楽器の体験、エスニック料理バイキング
35	3月9日	広島県	広島市立吉島小学校	小学6年生	51	開発途上国/国際協力に関するワークショップ(異文化理解、国際協力を考える)、民族衣装や民族楽器の体験、エスニック料理のバイキング

平成21年度 教師海外研修実績

応募者：8名
派遣教師：7名

国内事前研修	海外研修期間	国内事後研修	派遣国	氏名	都道府県名	学校名
第1回 5/23 第2回 6/20~21	7/25~8/8	第1回 9/12~13 第2回 1/23	マラウイ (7名)	茭口 公喜	広島県	広島学院中学・高等学校
				木村 賀代	広島県	広島県立因島高等学校
				古本 弘子	広島県	呉市立呉高等学校
				友田 真	広島県	福山市立霞小学校
				内尾 礼子	広島県	竹原市立竹原中学校
				林 俊輔	岡山県	岡山県立岡山芳泉高等学校
				浅田 弘美	山口県	宇部市立厚東小学校

平成21年度 国際理解教育研修会

国際理解教育研修会（第1回）

テーマ：「国際理解ってなあに?? 知ることからはじめよう!」

「国際理解とは」ワークショップを通じて学ぶ

実施日：平成21年5月23日（土） 会場：広島国際プラザ

参加者：36名（鳥取県1名、島根県0名、岡山県6名、広島県13名、山口県16名）

【プログラム】

時間	内容
12:00～12:30	受付
12:30～12:45	開会 JICA中国所長挨拶 JICA中国所長 齋藤 直樹
12:45～12:50	プログラム説明・中国各県JICA国際協力推進員の紹介
12:50～16:25 (休憩を含む)	講師 伊沢令子氏のご紹介 セッション 1 アイスブレイキング 世界のグローバル化とわたし 地域の課題・地球の課題 セッション 2 テーマ：「貧困」と「国際協力」 わたし・あなた・みんなに関わる力と「気づきと築き」のアクティビティ体験 ふりかえり 今日私が学んだこと・これから実行しようと思うこと
16:25～16:30	閉会 主催者挨拶 アンケート記入/事務連絡 JICA中国 市民参加協力課長 辻野 博司

国際理解教育研修会（第2回）

テーマ：「挑戦！オリジナル授業づくり」つながる世界！私たちの生活の中から見える世界の問題

実施日：平成21年9月13日（日） 会場：広島国際学院大学 立町キャンパス

参加者：20名（鳥取県0名、島根県1名、岡山県6名、広島県8名、山口県5名）

【プログラム】

時間	内容
11:45～12:30	受付
12:30～12:35	開会挨拶 JICA中国 市民参加協力課課長 辻野 博司
12:35～12:40	研修の目的 JICA中国 市民参加協力課主任 井上 明美
12:40～16:25	参加者間自己紹介&グループビルディング 参加型学習体験（第1回目研修会のおさらい） 例）問いかけ、具体物、写真、ロールプレイ等を活用 国際理解教材・授業案作成について ・テーマ決定 ・教材作成、授業案作成 ・授業案の実演（シュミレーション） 講師：（社）青年海外協力協会 堀田 直揮
16:25～16:30	閉会 アンケート記入・事務連絡

国際理解教育研修会（第3回）
 テーマ：教師海外研修授業実践報告会

実施日：平成22年1月23日（土） 会場：広島市留学生会館

参加者：35名（鳥取県2名、島根県2名、岡山県4名、広島県13名、山口県14名）

【プログラム】

時間	内容
11：45～12：30	受付
12：30～12：35	開会挨拶
12：35～12：40	主催者挨拶
12：40～12：45	JICA開発教育支援事業および研修会の目的について
12：45～13：10	研修同行者・井推進員による教師海外研修説明 マラウイ現地研修について 学校交流授業、 ホームビジット、 青年海外協力隊活動
13：10～13：25	発表形式についてアナウンス ・分科会発表者の紹介等
13：25～13：40	休憩&移動
13：40～14：10 【分科会1回目】	実践報告1「身近なところからの取り組み」 第1会場：中学校教諭（内尾） 第2会場：高校教諭（木村） 第3会場：推進員講座（広島県推進員：五十嵐） 発表15分、質疑応答10分、コメント記入5分
14：10～14：25	休憩&移動
14：25～14：55 【分科会2回目】	実践報告2「身近なところからの取り組み」 第1会場：小学校教諭（友田） 第2会場：高校教諭（古本） 第3会場：高校教諭（林） 発表15分、質疑応答10分、コメント記入5分
14：55～15：10	休憩&移動
15：10～15：40 【分科会3回目】	実践報告3「身近なところからの取り組み」 第1会場：小学校教諭（浅田） 第2会場：中学高等学校教諭（菱口） 第3会場：推進員講座（山口県推進員：水野） 発表15分、質疑応答10分、コメント記入5分
15：40～15：50	休憩
15：50～16：05	各部屋で閉会
	事務連絡&アンケート記入依頼
16：05～	希望者にJICA開発教育支援事業等の個別相談実施

本研修会後援：鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、岡山県教育委員会、広島県教育委員会、山口県教育委員会、
 広島市教育委員会

平成21年度 教育行政及び教員組織との連携実績

県名	連携先	実施時期	主な連携内容
鳥取県	鳥取県教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
	鳥取県立鳥取商業高等学校	7月16日	国際理解教育講座（3名参加）への講師派遣
島根県	島根県教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
岡山県	岡山県教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
	倉敷教育センター	6月25日	国際理解教育講座（45名参加）への講師派遣
	岡山県総合教育センター	7月27日	国際理解教育講座（19名参加）への講師派遣
	岡山県総合教育センター	8月19日	国際理解教育講座（15名参加）への講師派遣
	NPO法人 岡山日本語センター(OJC)	10月18日	国際理解教育講座（23名参加）への講師派遣
広島県	広島県教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
	広島県教育センター	8月20・21日	国際理解教育講座
	広島県教育センター	8月28日	専門研修講座・外国語活動1回目
	東広島市教育委員会	夏期	教職員指導力向上連続セミナー
	広島県高等学校教育研究会 国際理解教育部会	8月10日	国際理解教育講座（19名参加）への講師派遣
	広島市教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
山口県	山口県教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
	山口県国際理解教育研究会	8月18日	国際理解教育研究大会

平成21年度 研修員の学校訪問実績

実施件数：16件(広島県：15件、岡山県： 1 件)

訪問研修員総数： 131名

参加生徒総数：2,875名

NO.	訪問日	県名	訪問校	参加生徒数	研修員数	研修員国籍	訪問した研修コース名
1	5月15日	広島県	北広島町立雲月小学校	17名 (全校生徒)	12	アフガニスタン、アルジェリア、ブルキナファソ、ヨルダン、マリ、スーダン、タンザニア、イエメン、ザンビア	乾燥地における土地・水資源の適正管理と有効利用
2	5月22日	岡山県	岡山市立石井小学校	281名 (全校生徒)	7	バングラディッシュ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、インドネシア、モンゴル、シリア、トルコ、ベトナム	ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電コース
3	7月17日	広島県	神石高原町立豊松中学校	36名 (全校生徒)	6	エジプト、シリア、イエメン、ヨルダン	中東地域上水道維持管理～配水管網の維持・漏水防止コース
4	8月28日	広島県	広島県立広高等学校	40名 (1学年国際文理コース)	7	バングラディッシュ、ドミニカ共和国、フィジー、インド、ソロモン、ウルグアイ、パヌアツ	廃棄物管理総合技術
5	9月4日	広島県	広島市立安西小学校	428名 (全校生徒)	9	ベナン、カンボジア、エジプト、インドネシア、ケニア、ラオス、ミャンマー、トルコ	養殖魚の健康と安全管理
6	9月7日	広島県	府中市立府中小学校	105名 (4学年)	12	ボスニア・ヘルツェゴビナ、コロンビア、キューバ、インド、イラン、キルギス、レソト、メキシコ、ミャンマー、パレスチナ、フィリピン、ベトナム	持続可能な地域観光振興
7	9月7日	広島県	庄原市立栗田小学校	23名 (全校生徒)	12	アルゼンチン、ボリビア、コロンビア、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、メキシコ、ニカラグア、パナマ	中南米地域生活排水処理計画
8	9月11日	広島県	広島大学附属中・高等学校	320名	8	タンザニア、ケニア、マラウイ、ガーナ	中等科学教育実技
9	9月14日	広島県	尾道市立土堂小学校	480名	8	タンザニア、ケニア、マラウイ、ガーナ	中等科学教育実技
10	9月15日	広島県	広島大学附属東雲小学校	520名	8	タンザニア、ケニア、マラウイ、ガーナ	中等科学教育実技
11	10月7日	広島県	海田東小学校	70名	7	ドミニカ共和国、ソロモン、ウルグアイ、バングラディッシュ、パヌアツ、インド、フィジー	廃棄物管理総合技術
12	11月20日	広島県	広島大学福山中・高等学校	250名	7	ブルキナファソ、ニジェール、エチオピア、ボツワナ	アフリカ地域 研究を基礎とした教育の質の向上のための政策形成能力開発
13	11月26日	広島県	広島市立狩小川小学校	200名	7	ブルキナファソ、ニジェール、エチオピア、ボツワナ	アフリカ地域 研究を基礎とした教育の質の向上のための政策形成能力開発
14	1月15日	広島県	東広島市立竹仁小学校	13名 (6学年)	8	インド	インド火力発電(石炭)
15	1月15日	広島県	竹原市立仁賀小学校	23名 (全校生徒)	10	ガーナ、ケニア、マラウイ、モザンビーク、ナイジェリア、タンザニア、ウガンダ	アフリカ地域 中小零細企業支援機関育成
16	1月22日	広島県	安芸太田町立戸内中学校	69名 (全校生徒)	5	フィリピン、中国、カンボジア、ミャンマー	食品加工・保全技術

平成21年度 高校生国際協力体験プログラム

(1) 参加校

実施日：平成21年7月31日（金）～平成21年8月2日（日）

会 場：ひろしま国際プラザ（JICA中国国際センター）

共 催：（財）ひろしま国際センター

学 校 数 17校

参加生徒数 57名

県 名	学校名	参加生徒	
		学 年	人 数
島 根	島根県立松江市立女子高等学校	2・3	4
岡 山	私立岡山学芸館高等学校	1・3	4
	岡山県立総社南高等学校	3	2
広 島	広島県立戸手高等学校	3	4
	福山市立福山高等学校	1	3
	私立広島女学院中学高等学校	1・2	4
	広島県立広島高等学校	2	4
	広島県立竹原高等学校	1	2
山 口	山口から世界を考える高校生仲間	2	2
	私立誠英高等学校	2	4
徳 島	徳島市立城ノ内高等学校	2	4
香 川	香川県立飯山高等学校	2・3	3
	香川県立高瀬高等学校	3	3
愛 媛	私立済美高等学校	1・2	4
	愛媛県立松山中央高等学校	1	4
高 知	高知県立春野高等学校	2・3	3
	高知県立高知南高等学校	3	3

(2) プログラムスケジュール

参加校 17校
参加高校生 57名
引率教員 17名

第1日目：7月31日（金）

時間	内容	
12:30 13:30	受付	
13:30 13:45	開会・主催者あいさつ	JICA中国 市民参加協力課 課長 辻野博司
13:45 14:05	プログラム説明 ・プログラムの目的 ・日程説明、諸注意・確認事項 ・スタッフ紹介	JICA中国 市民参加協力課 主任 井上明美 (社)青年海外協力協会
14:05 15:05	はじまるぞ！ 国際協力体験プログラム これから始まる2泊3日のプログラム。まずは自己紹介と仲間作りから。	(社)青年海外協力協会 石倉
15:05 15:20	休憩	
15:20 16:40	もしも世界が80人の村だったら... もしも世界が80人の村だったら...世界の現状を体感しよう!	(社)青年海外協力協会 石倉
16:40 17:15	チェックイン手続き・夕食へ	
17:15 19:00	食から知る世界とわたしのつながり 「もしも世界が80人の村だったら」を振り返りながら夕食をとります。	(社)青年海外協力協会 石倉
19:00 19:15	事務連絡	(社)青年海外協力協会
19:15 19:45	自由時間	(社)青年海外協力協会
23:00	施設消灯時間	

第2日目：8月1日（土）

時間	内容	
7:20 8:30	8:30までに朝食を済ませ、グループ表のグループになって体育館に集合してください	
8:30 10:20	のぞいてみよう！青年海外協力隊 ・1日目のふりかえり ・活動視察の旅（世界各地で活動してきた協力隊員の話をお聞こう！） 元青年海外協力隊員が、自分の言葉で体験を伝えます。派遣国のこと、活動の思い出、帰国してから思うことを伝えます！協力隊の魅力を語ります。	(社)青年海外協力協会 石倉
10:20 10:35	休憩	
10:35 11:30	挑戦！青年海外協力隊「コスタリカ パルミチャル村の活動」 さあ、あなたも協力隊員となって国際協力に挑戦！ まずは村の状況確認から。どんな村で、誰と活動するの？ 活動の基本は現地を知ることです！	島根県国際協力推進員 藤原祐子
11:30 12:40	昼食 各部屋に移動	
12:40 13:45	挑戦！青年海外協力隊「コスタリカ パルミチャル村の活動」 村の現状把握が出来たら、村の問題を考えよう。自分にできることは？ 1人ではできないことも、力を合わせれば解決の糸口が見つかるかも...	(社)青年海外協力協会 林/石倉
13:45 14:00	休憩	
14:00 15:45	挑戦！青年海外協力隊「コスタリカ パルミチャル村の活動」 みんなで話し合って活動計画を作成しよう！	(社)青年海外協力協会 林/石倉

時 間	内 容	
15:45 16:00	休憩 体育館へ移動	
16:00 17:30	挑戦！青年海外協力隊「コスタリカ パルミチャル村の活動」活動計画ができればグループ毎に発表です。他のグループの活動は...?いろいろな視点、協力の方法があります。みんなで学び合しましょう。	(社)青年海外協力協会 石倉
17:30 18:00	休憩	
18:00 18:45	JICA研修員との交流 研修員を交えて、交流ゲーム！言葉の壁を飛び越えよう！	(社)青年海外協力協会 込谷
18:45 19:00	休憩 懇親会場・食堂へ移動	
19:00 20:30	懇親会 JICA研修員、JICA職員、元青年海外協力隊員との懇親会。参加者の一芸披露も大歓迎！懇親会は皆さんが創るもの。浴衣や工夫を凝らした衣装での参加も大歓迎！楽しく盛り上がりましょう！	(社)青年海外協力協会 林/細川
20:30 20:40	事務連絡	(社)青年海外協力協会 込谷
23:00	施設消灯時間	

第3日目：8月2日(日)

時 間	内 容	
7:20 8:30	8:30までに朝食とチェックアウトを済ませ、荷物を持って体育館に集合してください	
8:30 10:45	未来に向けて！明日からの行動計画 ・2日目のふりかえり ・自分たちの活動プログラム作成、発表 1日目、2日目のプログラムで学んだこと、感じたことをふり返りながら、これから自分たちにできることは何か、学校ごとのグループに戻って考えてみよう！ 意見をまとめたら発表です。参加者みんなで学びを共有しよう！	(社)青年海外協力協会 石倉
10:45 11:00	休憩	
11:00 12:20	聞いてみよう！今、自分たちにできること 20歳からの協力隊。今はまだ参加できないけれど、今だからできることはある！昨年度参加した高校生の話、そして今、大学でフェアトレードサークルを立ち上げ、活動している大学生の話聞いてみよう！	敬称略 山口大学 自主活動ルームコーディネーター：高見早苗 学生：佐々部加奈/土橋陽子 戸手高校 生徒 関藤桃子、藤井沙織、池田佳織、豊原盛良
12:20 12:40	閉会あいさつ 事務連絡&お別れ.....	JICA中国 市民参加協力課 課長 辻野博司 (社)青年海外協力協会 込谷/石倉

平成21年度 JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2009 高校生の部 応募実績と入賞者

(募集期間：2009年6月17日～9月10日)

国内機関長賞

島根県立浜田水産高等学校	1年	山崎 美緒	「地球のために」
岡山県立総社南高等学校	3年	團迫 咲希	一步踏み出してみて
広島県立広島高等学校	2年	平田 桃子	パルミチャル村から学ぶ国際協力
山口県立徳山高等学校	2年	中村 ゆい	今の私にできること

佳作

岡山学芸館高等学校	1年	山口 健太	フード・マイレージ
-----------	----	-------	-----------

(社)青年海外協力協会会長賞

島根県浜田水産高等学校	1年	三浦 未来	海のゴミ問題について考える
島根県浜田水産高等学校	1年	山本 未咲	水産浜田に生まれた私
山陽女子高等学校	1年	安井 愛美	海底ゴミ回収活動で美しい海を取り戻せ!
広島県立広島高等学校	1年	栗栖 千尋	私と世界と夢と
広島県立呉昭和高等学校	3年	臼井 沙羅	伝えることの大切さ
誠英高等学校	2年	磯村 勇人	「WAになって踊ろう」

県名	学校名	応募数	県名	学校名	応募数
島根県 (1校)	浜田水産高等学校	56	広島県	呉昭和高等学校	15
	個人応募	1		安芸府中高等学校	60
島根県合計		57		戸手高等学校	2
岡山県 (9校)	総社南高等学校	236		広島女学院高等学校	4
	岡山高等学校	2		広島高等学校	4
	津山商業高等学校	8		竹原高等学校	2
	岡山学芸館高等学校	381	個人応募	5	
	倉敷青陵高等学校	8	広島県合計		445
	玉島商業高等学校	23	山口県 (6校)	萩高等学校	2
	岡山理科大学附属高等学校	9		徳山高等学校	11
	倉敷商業高等学校	22		サビエル高等学校	1
	山陽女子高等学校	1		誠英高等学校	4
個人応募	1	熊毛南高等学校		7	
岡山県合計		691		柳井学園高等学校	2
広島県 (12校)	近畿大学附属東広島高等学校	76	個人応募	2	
	呉三津田高等学校	26	山口県合計		29
	福山市立福山高等学校	3	中国5県合計(28校)		1,222
	盈進高等学校	175	全国応募作品総数		24,452
	広島高等学校	62			
	福山暁の星女子高等学校	11			

平成21年度 JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2009
 中学生の部 応募実績と入賞者
 (募集期間：2009年6月17日～9月10日)

国内機関長賞

鳥取大学付属中学校	3年	田中 奈緒	「きぼうの日」
江津市立桜江中学校	3年	安田 智絵	出来ることから少しずつ
金光学園中学校	1年	片山みやび	あいさつから始まる国際交流
広島市立砂谷中学校	3年	秋森 悠希	一步を踏み出す勇気
周南市立須々万中学校	1年	岩田 大武	ゴミ拾い

佳作

倉吉市立西中学校	3年	中島 紗代	地球に住む一人として
益田市立高津中学校	3年	長嶺 万璃	小さなことでも
岡山大学教育学部付属中学校	3年	坂田 知穂	「ありがとう」の力
学校法人関西学園岡山中学校	2年	三木佑里英	同じ空の下
金光学園中学校	3年	中藤 朱里	「今、私にできること」
広島市立宇品中学校	3年	沖本 萌果	「美しい地球に生きる未来の私たち」
広島市立古田中学校	1年	亀井 洋徳	地球に宿る限りある命
広島市温品中学校	3年	大山 萌	「わが家の法りつ」が教えてくれた事
東広島市立磯松中学校	3年	深井 剛志	挨拶から始まるもの
安芸太田町立戸河内中学校	2年	島川 夏希	「理想の生き方」
広島市亀山中学校	3年	武田 優実	幸せの波紋を世界に
広島市砂谷中学校	3年	森本 愛梨	あの日からの願い

県名	学校名	応募数	県名	学校名	応募数
鳥取県 (8校)	福部中学校	24	岡山県	連島中学校	57
	東山中学校	4		東中学校	8
	河北中学校	4		荘内中学校	129
	東郷中学校	12		邑久中学校	1
	鳥取大学付属中学校	3		備前中学校	15
	西中学校	37		津山西中学校	203
	岸本中学校	65		鏡野中学校	1
	赤碓中学校	81		岡北中学校	9
鳥取県合計		230		琴浦中学校	9
島根県 (6校)	桜江中学校	3		玉島西中学校	19
	高津中学校	227		宇野中学校	26
	伯太中学校	43		哲多中学校	1
	本庄中学校	25		興除中学校	171
	島根大学教育学部付属中学校	51		児島中学校	5
	旭丘中学校	1		福田南中学校	40
島根県合計		350		連島南中学校	13
岡山県 (32校)	倉敷第一中学校	54		鶴山中学校	13
	金光学園中学校	115		高松中学校	87
	京山中学校	40		岡山白陵中学校	6
	東児中学校	19		山陽女子中学校	7
	三石中学校	15		西大寺中学校	101
	県立倉敷天城中学校	79		岡山大学教育学部附属中学校	21
	芳泉中学校	1	岡山中学校	91	

県名	学校名	応募数	県名	学校名	応募数
岡山県	上道中学校	7	広島県	府中緑ヶ丘中学校	64
	中道中学校	5		竹原中学校	41
	個人応募	4		府中中学校	10
岡山県合計		1,372		二葉中学校	4
広島県 (57校)	祇園東中学校	6		吉和中学校	11
	八本松中学校	4		日浦中学校	6
	福山中学校	53		松賀中学校	9
	駅家中学校	9		船越中学校	69
	近畿大学附属東広島中学校	24		第五中学校	31
	広島学院中学校	277		栗原中学校	64
	塩町中学校	6		広瀬中学校	1
	忠海中学校	8		甲田中学校	2
	似島中学校	12		筒賀中学校	4
	江田島中学校	16	加計中学校	16	
	大州中学校	137	長束中学校	9	
	東原中学校	29	宇品中学校	176	
	亀山中学校	144	個人応募	3	
	城南中学校	43	広島県合計		2,541
	高宮中学校	6	山口県 (21校)	玄洋中学校	25
	四季が丘中学校	16		萩西中学校	1
	三入中学校	12		菊川中学校	5
	如水館中学校	46		須々万中学校	68
	牛田中学校	55		楠中学校	3
	瀬野川中学校	23		山口大学教育学部附属光中学校	12
	温品中学校	246		室積中学校	22
	古田中学校	311		桜田中学校	63
	戸河内中学校	14		周東中学校	3
	吉浦中学校	15		鼓南中学校	1
	武田中学校	1		高水高等学校附属中学校	80
	天応中学校	16		宮野中学校	1
	瀬野川東中学校	18		川西中学校	6
	昭和中学校	11		晃英館中学校	6
	大野東中学校	47		山口市立湯田中学校	2
	呉中央中学校	19		右田中学校	61
	翠町中学校	3		錦中学校	3
	砂谷中学校	47	宇部フロンティア大学附属中学校	44	
	七尾中学校	4	富田中学校	131	
大和中学校	21	長成中学校	1		
甲山中学校	19	西岐波中学校	22		
本郷中学校	17	個人応募	1		
海田中学校	163	山口県合計		561	
山陽女学園中等部	58	中国5県合計(130校)		5,054	
高美が丘中学校	3	全国応募作品総数		49,084	
白岳中学校	52				
磯松中学校	10				

平成21年度 海外視察等に関する支援・便宜供与

合計：10件
参加者数：115人

行事名<団体名>	訪問国	海外渡航期間	人数	内容
カンボジア事務所訪問 <広島県議会ASEAN研究会>	カンボジア	4月20日～ 4月22日	14	JICA事務所訪問 技術協力プロジェクト視察
青少年国際交流・協力ステディーツアー2009 <広島平和文化センター>	バングラデシュ	8月2日～ 8月10日	13	協力隊活動現場視察 協力隊員との交流
フィリピスタディーツアー <岡山県立岡山一宮高等学校>	フィリピン	8月16日～ 8月20日	5	JICA事務所訪問 協力隊活動現場視察 JICAプロジェクト施設訪問
国際協力現地研修 <広島大学大学院 国際協力研究科>	フィリピン	8月17日～ 8月23日	11	JICA事務所訪問
第2期「ひろしま国際塾」海外研修 <(財)ひろしま国際センター>	ラオス、タイ	9月6日～ 9月13日	20	JICAプロジェクト施設訪問
ベトナムスタディーツアー <NGOネットワーク山口>	ベトナム	9月8日～ 9月13日	11	JICA事務所訪問 JICAプロジェクト施設訪問
カンボジア国際交流プロジェクト <広島経済大学 興動館>	カンボジア	9月14日～ 9月23日	12	JICA事務所訪問
タイ国研修 <岡山大学国際センター>	タイ	3月2日～ 3月4日	24	JICA事務所訪問
ベトナム国研修 <岡山大学国際センター>	ベトナム	3月4日～ 3月7日	4	協力隊活動現場視察 JICAプロジェクト施設訪問 JICA事務所訪問
協力隊活動現場視察 <個人>	ベトナム	3月20日～ 3月25日	1	協力隊活動現場視察 協力隊員との交流

海外記者派遣実績

年度	派遣国	派遣期間	派遣記者	取材結果
平成14年度	エチオピア ジンバブエ ザンビア	平成14年9月15日～ 平成14年9月28日	中国新聞社 吉原 圭介 記者	「夢づくり 青年海外協力隊inアフリカ(全6回) 中国新聞掲載
平成15年度	メキシコ パラグアイ	平成15年8月31日～ 平成15年9月5日	読売新聞社 鳥取支局 井口 馨 記者	「地球の裏側から(全5回)読売新聞鳥取版掲載
平成16年度	ベトナム フィリピン	平成16年11月3日～ 平成16年11月11日	山口新聞社 伊藤 大輔 記者	「大海原を越えて 青年海外協力隊比越報告(全5回)山 口新聞掲載
平成17年度	ケニア ウガンダ	平成18年1月30日～ 平成18年2月11日	山陰中央新報社 井上 誉文 記者	「1000キロの架け橋(全6回)山陰中央新報掲載 平成18年3月11日 ピーストークマラソンin島根で帰 国報告
	マラウイ ザンビア	平成18年3月6日～ 平成18年3月17日	山陽新聞社 藤岡 慎吾 記者	「大地に汗を～アフリカ支援の今～(全5回)山陽新聞掲載 「手と手と手～岡山発 国際貢献～」山陽新聞(平成18年 1月1日から平成18年6月23日まで97回連載)に参考 情報として活用
平成18年度	カンボジア フィリピン	平成18年5月25日～ 平成18年6月3日	新日本海新聞社 坂 彩子 記者	「きずなは固く～青年海外協力隊の2女性～(全4回) 日本海新聞掲載 「信本先生のカンボジアメール」日本海新聞連載中(平成 19年4月現在) ピース・トーク・マラソンin鳥取で取材報告
	タイ ベトナム	平成18年10月16日～ 平成18年10月24日	山口新聞社 森重 瑛美 記者	「山口から東南アジアへ～国際支援活動を追う～(全5 回)山口新聞掲載 ピース・トーク・マラソンin山口で取材報告
平成19年度	ガーナ	平成19年7月30日～ 平成19年8月12日	毎日新聞社 山口支局 住田 里花 記者	「教師海外研修40年～先生たちのガーナ見聞録～(全3 回)毎日新聞掲載
	ブルキナファソ タンザニア	平成19年11月26日～ 平成19年12月7日	山陰中央新報社 佐野 卓矢 記者	「灼熱の地を開く～アフリカ支援の山陰人～(全5回) 山陰中央新報掲載
平成20年度	ザンビア ブルキナファソ	平成20年5月11日～ 平成20年5月24日	中国新聞社 治徳 貴子 記者	「アフリカで支える 中国地方の協力隊員(全5回)中 国新聞社掲載
	セントビンセント コストリカ	平成20年12月9日～ 平成20年12月18日	新日本海新聞社 半田 聡 記者	「夢追い人を訪ねて 青年海外協力隊員に密着(全5回) 新日本海新聞社掲載
平成21年度	ケニア	平成21年8月24日～ 平成21年9月11日	広島ホームテレビ 森田 和稔 記者 竹井 正二 記者	「地球は宣言スペシャル『乾きゆく大地～二人の日本人女 性が見たケニアの異変～』(55分)広島ホームテレビ放映

平成21年度 職業体験受入実績

学校名	受入日	受入生徒数
武田中学校	8月5日	1名
広島県立広島中学校	11月21日	2名
西条中学校	2月1日、2月3日	1名

平成21年度 広島大学との連携協力実績

No.	事案名	期間・日時	事業概要
1	集団研修 「中等科学教育実技」	研修受入期間 平成21年8月4日～ 平成21年9月27日	研修参加者(8名): 科学教育手法を有する教員を養成。全5年次の5年次目。 到達目標: 物理、化学などの実験技術の習得 低コスト理科実験機材の開発 方法の習得 日本の科学教育の学習指導の理解
2	集団研修 「持続可能な地域観光振興」	研修受入期間 平成21年8月18日～ 平成21年10月25日	研修参加者(13名): 地域共同体の意向及び環境に与える影響にできるだけ配慮 するような方法で観光開発を行えるように、研修員が持続可能な観光開発に関する 包括的な知識と基礎的な技能を修得することを目的としている。
3	集団研修 「アフリカ地域・研究を基 礎とした教育の質的向上の ための政策形成能力開発」	研修受入期間 平成21年11月16日～ 平成21年12月13日	研修参加者(7名): 教育行政官及び大学研究者を対象にし、日本及びアジアに おける研究を基礎とした教育政策形成と施策立案のプロセスとその実施に関する 行動計画を作成し、自国の教育の質的向上に対する問題解決及び政策立案能力の 向上を図ることを目的としている。
4	集団研修 「バイオマス利用システム (有償勘定技術支援)」	研修受入期間 平成22年1月11日～ 平成22年2月14日	研修参加者(8名): バイオマスの賦存量および利用可能量を把握し、国あるい は地域レベルでの再生可能なバイオマスの利活用計画が立案及び実行するための 手法を修得し、環境に配慮した社会の構築に貢献することを目的としている。
5	ベトナム長期研修員 「水環境技術能力向上」	研修受入期間 平成17年9月3日～ 平成21年9月28日	研修参加者(1名): ベトナムでJICAが実施している「水環境技術能力向上プロ ジェクト」に関わっているカウンターパート(C/P)を受け入れているもので、 水環境問題を環境管理の視点から研究し、その成果をプロジェクト活動(環境エ ンジニアリング部門の水環境技術能力向上)に応用し、ベトナムにおける適用可 能な技術に反映させることを目的としている。
6	イラク長期研修員 「灌漑水資源管理」	研修受入期間 平成19年9月25日～ 平成22年4月3日	研修参加者(1名): 日本における植物の耐乾燥性や植物栄養生理学に係る最新 技術や研究成果を理解するとともに、本研修で得た知識に基づき、イラクに即し た肥料や生物生産性につながる分析、研究成果をまとめることを目的としている。
7	地域別研修 「アフリカ地域仏語圏 INSET運営管理」	研修受入期間 平成21年9月29日～ 平成21年11月6日	研修参加者(12名): 19年度まで実施していた「仏語圏アフリカ教育行政」の更 新案件。20-22年度の3ヵ年実施。地方教育行政官などに自国の現職教員研修の 課題に対する改善計画案の作成に主眼を置いている。
8	地域別研修 「アフリカ地域英語圏 INSET運営管理(A)」	研修受入期間 平成21年11月17日～ 平成21年12月20日	研修参加者(17名): 教員研修を担当する教育行政機関の行政官・指導主事を対 象とし、日本での現職教員研修についての講義、視察及び自国との比較分析を通 して、INSET運営管理の改善計画を策定することを目的としている。
9	地域別研修 「アフリカ地域英語圏 INSET運営管理(B)マ ラウイ限定」	研修受入期間 平成22年1月26日～ 平成22年2月28日	研修参加者(15名): 教員研修を担当する教育行政機関の行政官・指導主事を対 象とし、日本での現職教員研修についての講義、視察及び自国との比較分析を通 して、INSET運営管理の改善計画を策定することを目的としている。
10	地域別研修 「アジア地域・ノンフォー マル教育拡充」	研修受入期間 平成22年2月8日～ 平成22年3月14日	研修参加者(11名): UNESCOタイ事務所及び広島大学と連携し、タイと日本の 事例を学び、ノンフォーマル教育拡充のための戦略計画案を立案する。全3年次 の3年次。主な到達目標: タイでのノンフォーマル教育における制度、行政の 役割を学ぶ 日本における生涯学習拠点の事例を通して、コミュニティー開発 などの視点からノンフォーマル教育のあり方について理解を深めることを目的と している。
11	課題別研修長期型 「アフリカ初中等教育の質 的改善」(平成20年度開始 分)	研修受入期間 平成21年3月16日～ 平成23年3月31日	研修参加者(7名): 教員養成機関講師及び教育行政官を対象にして、アフリカ の開発と教育に係る理論と実践を習得させ、自国の初中等教育の質的向上に対す る問題解決及び政策立案能力の向上を図ることを目的としている。
12	課題別研修長期型 「アフリカ初中等教育の質 的改善」(平成21年度開始 分)	研修受入期間 平成21年9月23日～ 平成23年10月2日	研修参加者(2名): 教員養成機関講師及び教育行政官を対象にして、アフリカ の開発と教育に係る理論と実践を習得させ、自国の初中等教育の質的向上に対す る問題解決及び政策立案能力の向上を図ることを目的としている。
13	青年海外協力隊募集説明 会等広島大学での実施	通年	青年海外協力隊の春、秋の募集説明会などを広島大学において実施した。
14	「もみじ」(大学生向け携 帯電話掲示板)を利用し た、セミナーや募集説明 会等JICA事業の案内	通年	学生向けの学内掲示板機能として広島大学が運用している携帯電話での掲示サイ ト「もみじ」を通じて、JICAが行っているセミナーや協力隊募集説明会などの行 事を案内した。
15	国際協力研究科「国際協力 特論」、「経済開発論」 での講義	4月16日、23日 11月19日 12月7日、9日、16日	広島大学との連携協定の枠組み下で実施。 国際協力特論: 大学院生を対象に、新生JICAの特徴などJICA全体についての講 義を広島大学で1コマ、国内機関の特徴についての講義をJICA中国で1コマ実施 した。また、留学生を中心とした学生を対象に、同様の内容の講義を英語で実施 した。 経済開発論: 留学生を中心とした学生を対象に、JICA在外事務所(ラオス、ガー ナ、シエラレオネ)での事業紹介などについての講義を英語で実施した。
16	JICA中国一般特別料金適 用による広島大学客員研 究員等の宿泊促進	通年	「JICAが大学と締結する連携協力協定(覚書を含む)に規定する施設の相互利 用に基づき宿泊する者」に適用できる、「JICA中国宿泊に係る一般特別料金(朝 食込み、税込み4,541円/泊)」を広島大学客員研究員、学会参加者等に周知し、 宿泊施設利用の促進を図った。 その結果、広島大学関係者は、602人泊(平成21年度センター宿泊者の4.7%に相当) の宿泊実績となった。

海外ボランティアによる「原爆展」開催実績

「原爆展」は、広島県出身の青年海外協力隊員達の自主的な活動により、2004年中米のニカラグアにて開催され好評を得たのを機に、これまでアフリカや中南米など延べ60カ国を超える国々で開催されています。広島市国際協力推進員が窓口となり、広島市平和祈念資料館からの原爆資料貸出など行っています。

1. 平成21年度原爆展等の実施実績

国名	実施時期	実施内容
インドネシア	平成21年	原爆ポスター展示。
ネパール	平成20年5月	2都市で一般市民および学生を対象に実施。約2,000名来場。
ザンビア	平成21年5月 ～平成22年3月	市内の高等学校、大学、美術館にて実施、各会場300～500名来場。
カメルーン	平成21年6月～8月	協力隊員の任地、首都にて実施。
ザンビア	平成21年8月	8月6日、8月9日の原爆投下日に合わせてリビングストーン博物館で実施。
サモア	平成21年8月	隊員が開催したサイエンスフェアの会場一角で開催。
ブラジル	平成21年8月～	原爆ポスター展示、ビデオ上映。
スリランカ	平成21年9月～11月	スリランカの各地で計4回実施、750名が来場。
ニカラグア	平成21年11月	ニカラグア国立自治大学で2日間実施、160名が来場。
エチオピア	平成21年10月～	原爆ポスター展示、DVD上映。

2. 「原爆展」開催国数

年度	開催国数
平成16年度	1
平成17年度	9
平成18年度	16
平成19年度	26
平成20年度	7
平成21年度	9

2. 参考資料

主な関係団体（中国5県）

（1）国際協力関連業務主管部課

県・市名	国際協力一般 (含む青年海外協力隊)	郵便番号	所在地	電話番号
鳥取県	文化観光局交流推進課	680-8570	鳥取市東町1-220	0857-26-7079
島根県	環境生活部文化国際課	690-8501	松江市殿町1	0852-22-6462
岡山県	県民生活部国際課	700-8570	岡山市北区内山下2-4-6	086-226-7284
広島県	企画振興局政策企画部国際課	730-8511	広島市中区基町10-52	082-513-2359
山口県	地域振興部観光交流局国際課	753-8501	山口市滝町1-1	083-933-2343
広島市	市民局国際平和推進部	730-8586	広島市中区国泰寺町1-6-34	082-504-2106

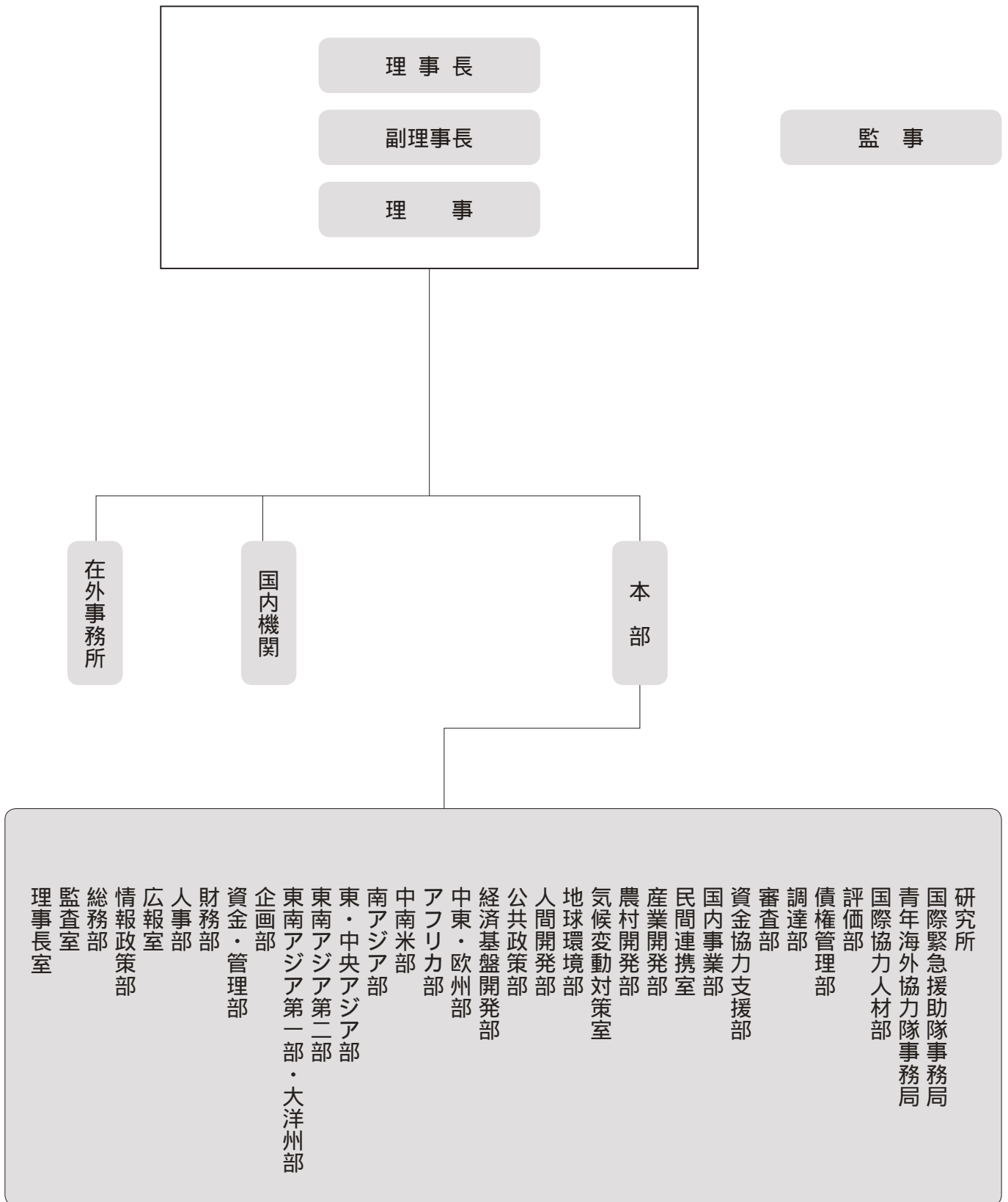
（2）主な協力団体

県・市名	団体名	郵便番号	所在地	電話番号
鳥取県	財団法人 鳥取県国際交流財団	680-0947	鳥取市湖山町西4-110-5 鳥取空港国際会館1階	0857-31-5951
島根県	財団法人 しまね国際センター	690-0887	松江市殿町8-3 島根県市町村振興センター3階	0852-31-5056
岡山県	財団法人 岡山県国際交流協会	700-0026	岡山市北区奉還町2-2-1 岡山国際交流センター内	086-256-2917
広島県	財団法人 ひろしま国際センター	730-0037	広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階	082-541-3777
山口県	財団法人 山口県国際交流協会	753-0814	山口市吉敷下東4-17-1	083-925-7353
広島市	財団法人 広島平和文化センター	730-0811	広島市中区中島町1-2 広島国際会議場内	082-242-8879

（3）青年海外協力隊OB会・育てる会

団体名	代表者名・役職	
青年海外協力隊鳥取県OV会	石井 憲和	会長
島根県青年海外協力協会	生越 大地	会長
青年海外協力隊岡山県OV会	藤本 裕也	会長
青年海外協力隊広島県OB会	鈴木 知昇	会長
青年海外協力隊山口県OB会	亀田 崇路	会長
岡山県協力隊を育てる会	末 光 茂	会長
広島県協力隊を育てる会	上田 みどり	会長
山口県協力隊を育てる会	岩本 功	会長

国際協力機構の組織図（平成22年3月31日現在）



JICA中国の沿革

1. 事業の沿革

昭和29年から管轄地域内各県で実施されていた海外移住業務を、昭和39年7月に設置された国際協力事業団(JICA: Japan International Cooperation Agency)の前身である海外移住事業団広島県事務所が、各県海外協会から継承しました。昭和40年から各県の協力を得て実施されていた青年海外協力隊業務は、国際協力事業団広島支部が設置された昭和49年8月から扱うこととなり、研修員の受入れ業務は、昭和56年から実施しています。

2. 組織の変遷

< 国際協力事業団設立以前 >

- 昭和29年 1月 財団法人日本海外協会連合会が東京に設立。
3月 広島県及び鳥取県に海外協会が設立。その後、4月に岡山県、10月に山口県、11月に島根県と設立。
- 昭和37年 6月 海外技術協力事業団(OTCA)設立。政府の技術協力事業を一元化。
- 昭和38年 7月 海外移住事業団(JEMIS)設立。財団法人日本海外協力連合会の業務を継承。
- 昭和39年 7月 JEMIS、都道府県に地方事務所開設。
- 昭和48年 10月 JEMIS広島支部が設立。広島県、山口県及び島根県を管轄。岡山県及び鳥取県は、神戸支部が管轄。山口県には更に駐在員事務所を配置。

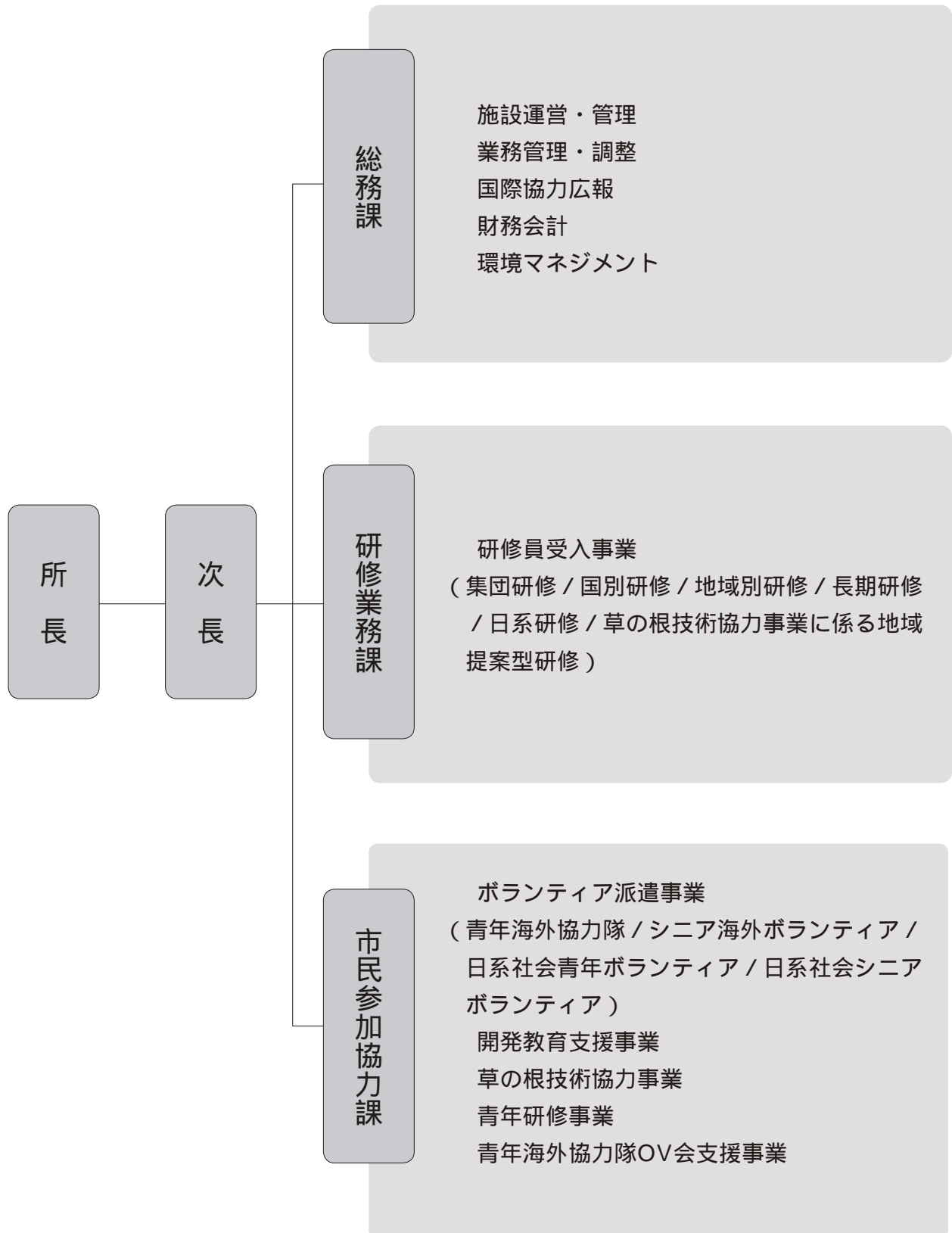
< 国際協力事業団 >

- 昭和49年 8月 国際協力事業団(JICA)設立。JEMIS広島支部は、JICA広島支部となる。
- 昭和53年 9月 山口駐在員事務所が廃止。
- 昭和54年 7月 JICA広島支部の担当地域に鳥取県及び岡山県が加わり、管轄が中国5県となる。
- 昭和55年 4月 名称変更により広島支部は中国支部となる。
- 平成8年 10月 中国支部を廃止し、中国国際センターを設立。
- 平成9年 1月 東広島市鏡山の広島中央サイエンスパーク内に、JICAと広島県との共同施設「ひろしま国際プラザ」が完成。
2月 中国国際センターを、「ひろしま国際プラザ」に移転。

< 国際協力機構 >

- 平成15年10月 JICAは、独立行政法人化して「独立行政法人 国際協力機構」(英文名称は「JICA」のまま)となる。
- 平成20年10月 国際協力銀行(JBIC)のODA部門と統合、外務省の無償資金協力業務を承継し、一元的なODA実施機関となる。

JICA中国の組織図・業務内容（平成22年3月31日現在）



JICA中国の職員

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

所長		齋藤直樹 ~10月 永田邦昭 10月～
次長		竹内康人
総務課	総務課長	籌満彦 ~6月 関根創太 7月～
研修業務課	研修業務課長	中本明男 三浦佳子 ~7月 小林英里子 7月～ 徳田真人 ~5月 矢崎仁太郎 近藤菜々 4月～
	ジュニア専門員	小坂法美
市民参加協力課	市民参加協力課長	辻野博司 井上明美 瀧口暁生
	市民参加協力調整員	幸田正夫 ~3月
	市民参加協力調整員	金江聡美 2月～
	進路相談カウンセラー	越智正紀
	国際協力推進員	鳥取県 渡辺由美 ~12月
	国際協力推進員	鳥取県 上原菜生 12月～3月
	国際協力推進員	鳥取県 森木由加里 3月～
	国際協力推進員	鳥根県 藤原佑子 ~10月
	国際協力推進員	鳥根県 河野菜津子 10月～
	国際協力推進員	岡山県 武藤理恵 ~1月
	国際協力推進員	岡山県 越宗ゆう子 1月～
	国際協力推進員	広島県 五十嵐静保
	国際協力推進員	山口県 水野雅子
	国際協力推進員	広島市 井尚子 ~2月
国際協力推進員	広島市 植松弥穂 2月～	

MEMO

MEMO

独立行政法人 国際協力機構中国国際センター
平成21年度活動レポート

2010年7月 発行

発行 独立行政法人 国際協力機構
中国国際センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3丁目3番1号

TEL 082-421-6300

FAX 082-420-8082

E-Mail jicacic@jica.go.jp

URL <http://www.jica.go.jp/chugoku>



独立行政法人 国際協力機構 中国国際センターへの交通アクセス

JR西条駅から

- ・JRバス 黒瀬・広・呉方面行(7番のりば)
水源地前(すいげんちまえ)下車 徒歩15分
- ・JRバス サイエンスパーク行(7番のりば)
フォード前下車 徒歩5分
- ・タクシー 15分
- ・シャトルバス 西条駅前(6番のりば) 15分

JR東広島駅から

- ・タクシー 10分

広島空港から

- ・芸陽バス 白市駅方面行 終点JR白市駅下車<JRに乗換>
山陽本線広島方面行 JR西条駅下車
(JR西条駅からは、上記を参照)
- ・タクシー 30分

山陽自動車道 西条ICから

- ・自動車 国道375号線を呉方面へ 15分
- 国道2号線(西条バイパス)
- ・自動車 道照交差点を呉方面へ 5分

シャトルバス運行表

【JR西条駅 ひろしま国際プラザ】

西条駅	リハビリテーションセンター	広島大学	ひろしま国際プラザ	備考
8:58			9:13	土日祝運休
10:00			10:16	
10:50			11:06	
13:35			13:51	
15:50	16:08		16:20	
18:05		18:20	18:25	土日祝運休
18:00			18:15	土日祝のみ運行
18:55			19:10	土日祝運休
19:30			19:45	土日祝のみ運行

【ひろしま国際プラザ JR西条駅】

ひろしま国際プラザ	広島大学	リハビリテーションセンター	西条駅	備考
8:30	8:35		8:50	土日祝運休
9:44			9:58	
10:16		10:25	10:46	
13:09			13:25	
16:20			16:35	
17:40			17:55	土日祝のみ運行
17:50			18:05	土日祝運休
18:40			18:55	土日祝運休
19:10			19:25	土日祝のみ運行

印のバスはリハビリテーションセンターが運営しているバスです。
乗車・座席の利用については、リハビリテーションセンター利用者が優先となります。
変更する場合がありますので、JICA中国のホームページでご確認下さい。

独立行政法人 国際協力機構 中国国際センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL(082)421-6300 FAX(082)420-8082
<http://www.jica.go.jp/chugoku/>